

# LIXIL フーゴR900

## 1台用 基本・縦連棟・M合掌

# 取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
  - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### ⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 🙏 お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

### 補 足

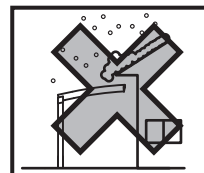
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>

### ⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪（新雪）30cmを超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けけない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行ってください。



### 🙏 お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離はくりのおそれがあります。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。

## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。  
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。  
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。  
①地盤の堅牢/軟弱さ（地耐力等）、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
- ・設置場所が本書記載の地耐力が異なる場合は基礎サイズが変わります。
- ・コンクリート強度は18N/mm<sup>2</sup>以上で施工してください。

### お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。  
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。  
縦樋を取付けない側に使用してください。
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）

※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m（200±5kgf・cm）

※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）

### お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。  
※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。  
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

## <施工の後に>

### ⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし、緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

### お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

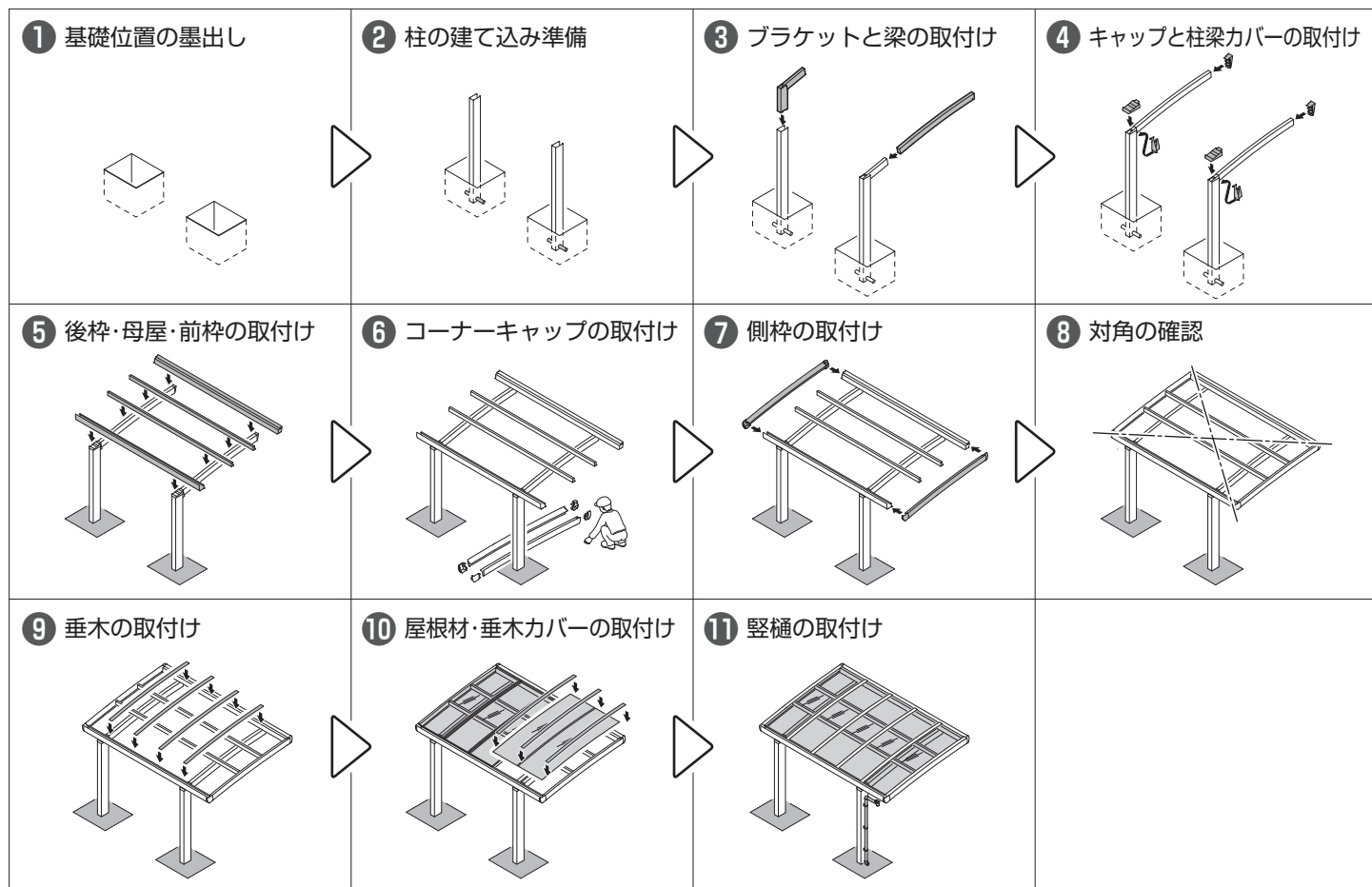
# INDEX

表示マーク	3	縦連棟タイプの施工	18
施工の流れ	3	■ 縦連棟の確認事項	18
梱包明細表	4	1 連結部の加工	19
各部の名称	6	2 部材の取付け	20
基本タイプの施工	7	M合掌タイプの施工	22
■ 基本の確認事項	7	■ M合掌の確認事項	22
1 基礎寸法の確認	8	1 合掌部の取付け	23
2 柱の建て込み準備	9	2 合掌棟木の取付け	23
3 柱、梁の組立て	9	3 M合掌端部キャップの取付け	24
4 部材の加工	11	4 MY合掌連棟カバーの取付け	24
5 母屋・後枠の取付け	13		
6 前枠の取付け	13		
7 側枠の取付け	14		
8 対角寸法の確認	15		
9 垂木の取付け	15		
10 屋根材の取付け	16		
11 側枠カバー・垂木カバーの取付け	16		
12 豎樋の取付け	17		

## 表示マーク


									
独立基礎で施工の場合	土間コンクリートで施工の場合	偏心基礎部材を使用している場合	柱位置を移動して施工の場合	M合掌を施工の場合	「縦連棟」を施工の場合	耐積雪で施工の場合	耐風圧で施工の場合	オプション製品	シーリング箇所

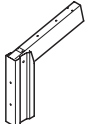
## 施工の流れ







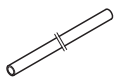
# 梱包明細表




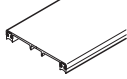
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

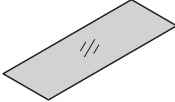
【1】 柱セット		員数
名称	略図	
柱		2

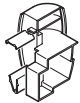
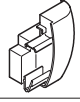


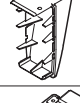
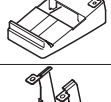
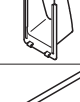













【2】 ブラケットセット		員数
名称	略図	
ブラケット		2

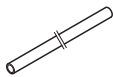
【3】 梁セット		員数
名称	略図	
梁		2

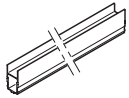

【4】 長さセット		員数
名称	略図	
前枠		1
後枠		1
母屋		3
縦樋φ 40 L=3500		1

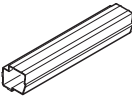
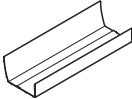
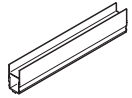

【5】 幅セット		員数
名称	略図	6本入り
側枠		左右各 1
側枠カバー		2
垂木		6
垂木カバー		6

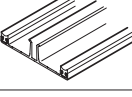
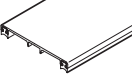
【6】 屋根材セット		員数		
名称	略図	1枚入	3枚入	4枚入
屋根材		1	3	4










【7】 部品セット		員数
名称	略図	
前枠コーナーキャップ R		1
前枠コーナーキャップ L		1
後枠コーナーキャップ R		1
後枠コーナーキャップ L		1
梁キャップ		2
柱キャップ		2
柱梁カバー		2
アンカー棒 φ 8 × 200		2
穴隠しシール φ 10		20
雨樋アタッチメント		1
雨樋穴塞ぎキャップ		1
雨樋パッキン		2
ドレンエルボ φ 40 用		1
92° エルボ φ 40 用		2
でんでん		3
接着剤		1
パネル緩衝材		24
【7-1】 M8 × 20 六角ボルト (平座金・緩み止め付き)		14
【7-2】 φ 5 × 12 トラスタッピンネジ 3種		230
【7-3】 φ 4 × 13 ナベドリルネジ		3
取付説明書 (D633)	—	1
取扱説明書 (UD125)	—	1


【8】 縦樋セット		員数
名称	略図	L=1000
縦樋 φ 40		1

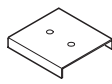
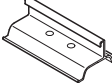

【9】母屋補強材セット		オプション	員数
名称	略図		
母屋補強材 (L=1500)			2
【9-1】φ5×13 ナベドリルネジ			8

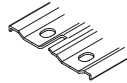


【10】連棟部材セット		員数
名称	略図	
前枠スリーブ		1
後枠スリーブ		1
母屋スリーブ		3
【10-1】φ4×13 ナベドリルネジ		44

【11】連棟幅セット		員数
名称	略図	
垂木		7
垂木カバー		7

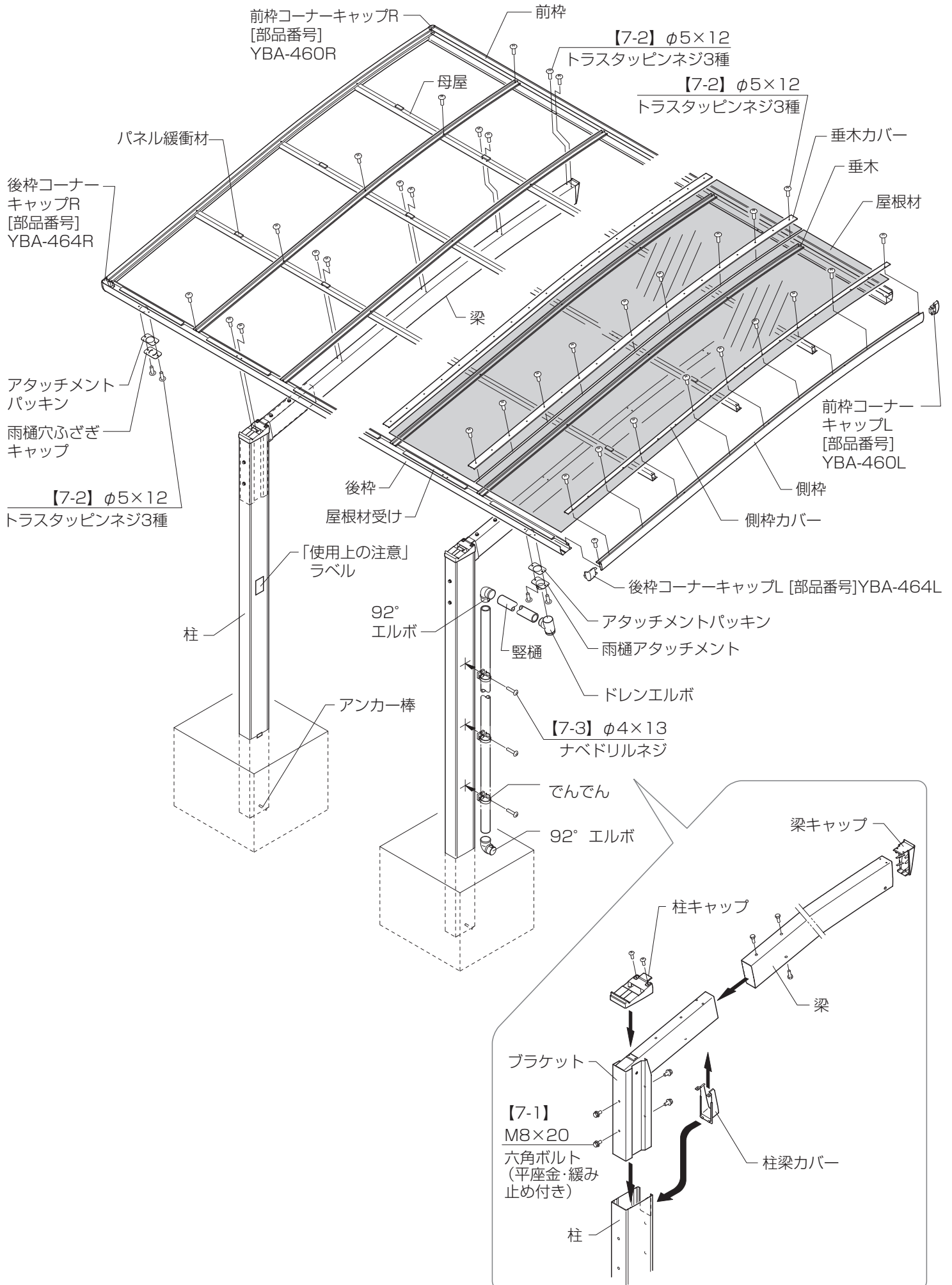
【12】M合掌部品セット		員数
名称	略図	
M合掌 梁連結金具 R用		4
M合掌 端部キャップ R用		2
M合掌 固定金具 R用		4
梁スペーサー		8
【12-1】M8×80 六角ボルト		8
【12-2】M8 六角セルフロックナット		8
【12-3】 M8用平座金		16
【12-4】φ4×13 ナベドリルネジ		4
【12-5】φ4×20 トラスタッピンネジ2種		4

【13】MY合掌棟木セット		員数
名称	略図	
M・Y 合掌棟木		1

【14】M合掌連棟部品セット		員数
名称	略図	
MY合掌 連棟カバー R用		1
M合掌連棟用 取付金具 R用		1
【14-1】φ4×13 ナベドリルネジ		4

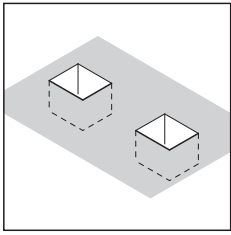
【15】屋根材ホルダーセット		オプション	員数
名称	略図		
パネル抜け防止材			7
屋根材ホルダース ペーサー			4
【15-1】φ5×13 ナベドリルネジ			26
屋根材ホルダー取付 説明書 (D614)	-		1

# 各部の名称





# 1 基礎寸法の確認

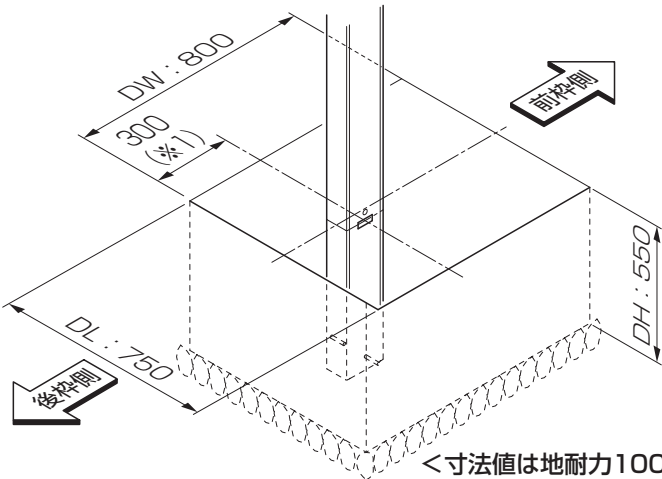


【縦連棟】  
【M合掌】 も本ページの基礎寸法を参照してください。

①基礎穴寸法を確認してください。



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。



<寸法値は地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合>

## 補足

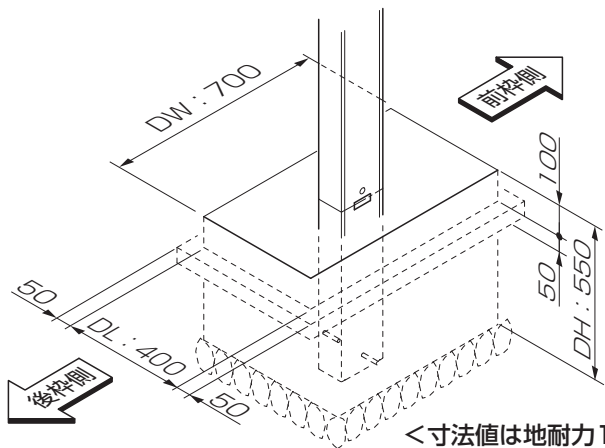
(※1)は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。

## 補足

地盤条件ごとの基礎寸法はスマートフォンなどで二次元バーコードを読み取って確認できます。



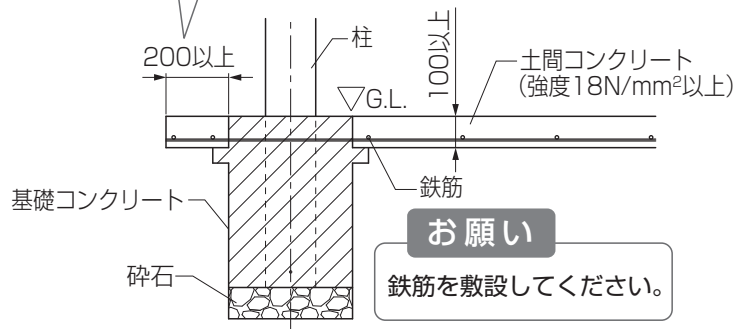
【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



<寸法値は地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合>

## お願い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。



## お願い

鉄筋を敷設してください。



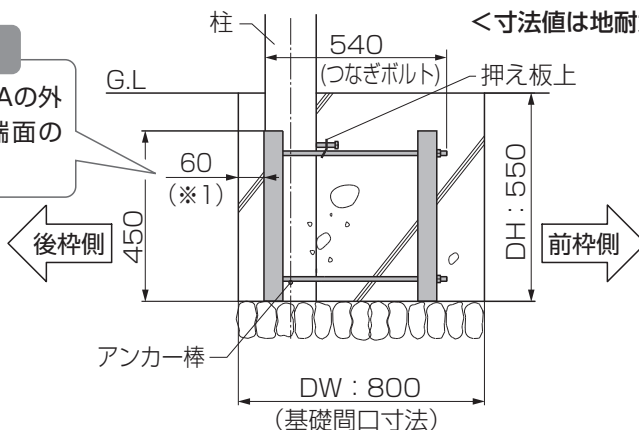
【偏心基礎部材】を取付ける場合の作業です。



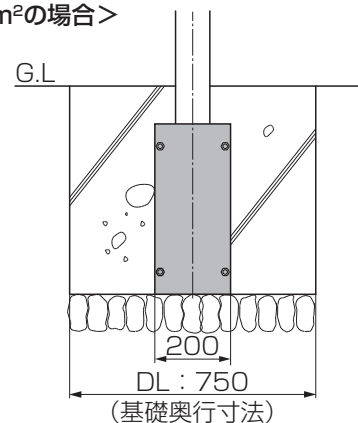
組立て方法については【偏心基礎部材 取付説書 (D349)】も参照してください。

## 補足

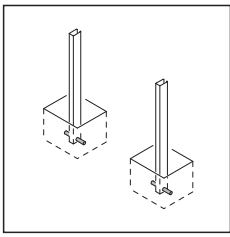
※1はタテ材Aの外面から基礎端面の寸法です。



<寸法値は地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合>



## 2 柱の建て込み準備

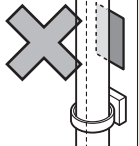


- ①アンカー棒を柱に差込んでください。
- ②柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。

### お願い

#### 【柱を建てこむ際は】

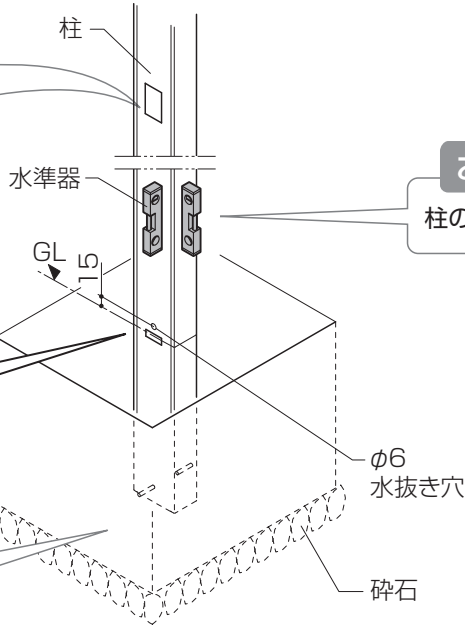
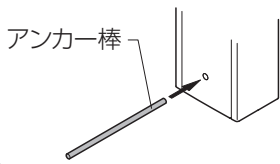
「使用上の注意」ラベルが、堅樋でかかれるように柱を建込んでください。



### 注意

水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

アンカー棒

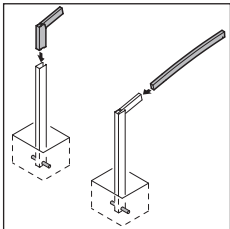


### お願い

柱の垂直を確認してください。

## 3 柱、梁の組立て

### 1 ブラケットと梁の取付け



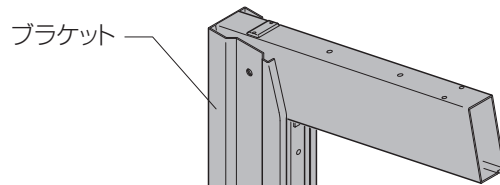
- ①ブラケットを柱に差込み【7-1】で取付けてください。
- ②梁をブラケットに差込み【7-1】で取付けてください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

- 【物干しセット】
- 「物干しセット 取付説明書 (D610)」
- 【躯体取付材】
- 「カーポート躯体付け部材 取付説明書 (D615)」

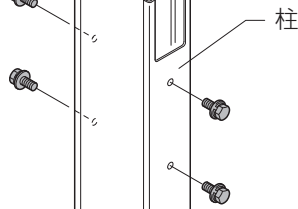
ブラケット



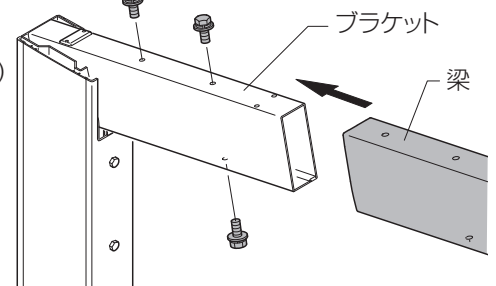
### お願い

緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)

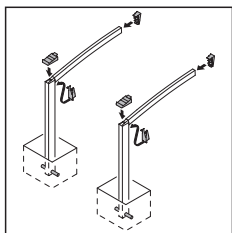
【7-1】 M8×20  
六角ボルト  
(平座金・緩み止め付き)



【7-1】 M8×20  
六角ボルト  
(平座金・  
緩み止め付き)



## 2 柱キャップ・柱梁カバーの取付け

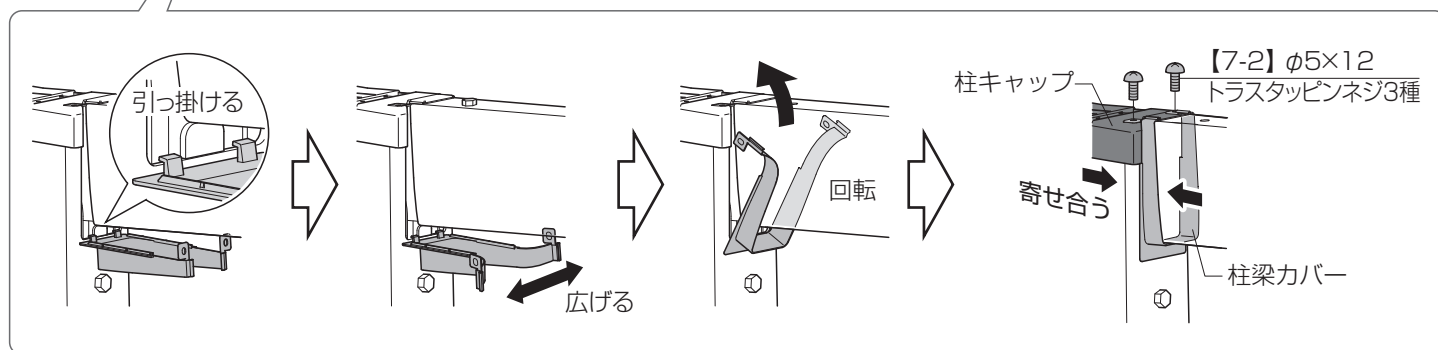
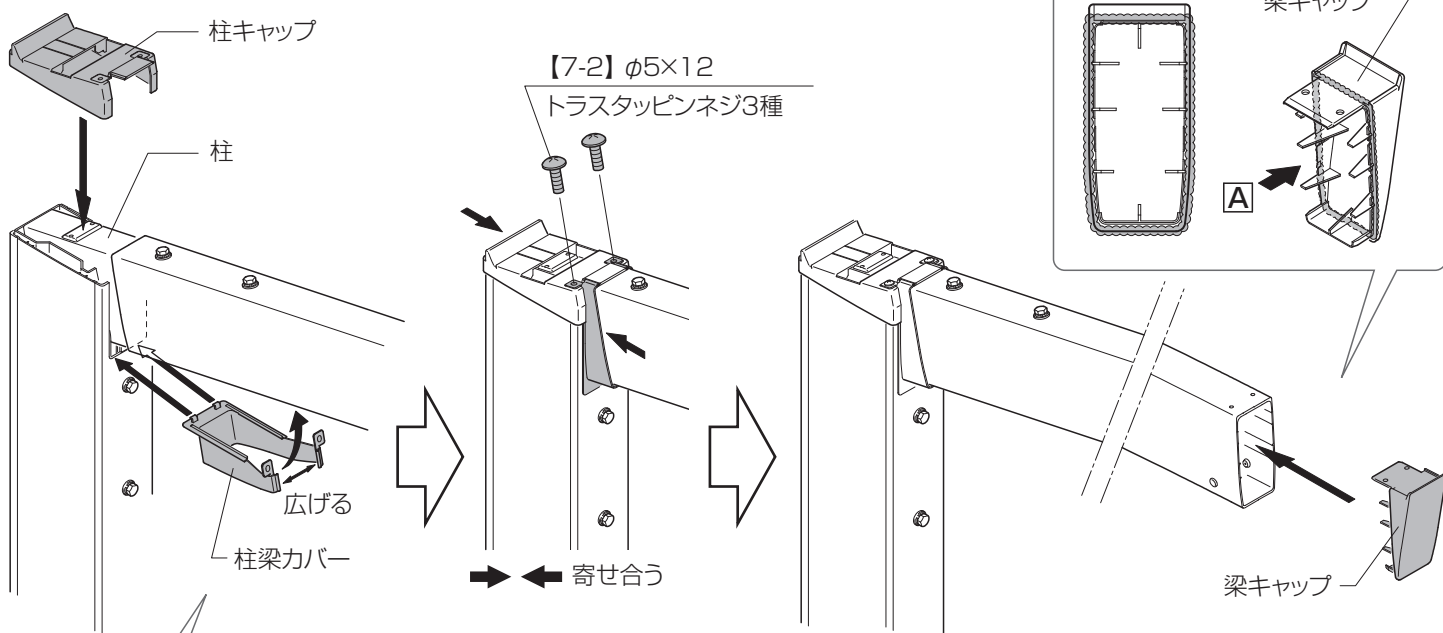


【M合掌】の場合は、P.23も  
事前に確認してください。

- ① 柱キャップを柱にはめ込んでください。
- ② 柱梁カバーを柱の切欠き部にはめ込んでください。
- ③ 柱梁カバーを柱キャップに【7-2】で取付けてください。
- ④ 梁キャップにシーリング剤を充填し、梁に梁キャップをはめ込んでください。

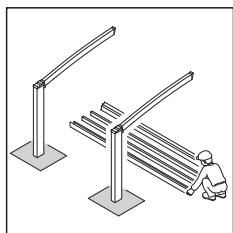
### 補 足

この段階では、柱キャップ・柱梁カバーは多少ガタつきます。



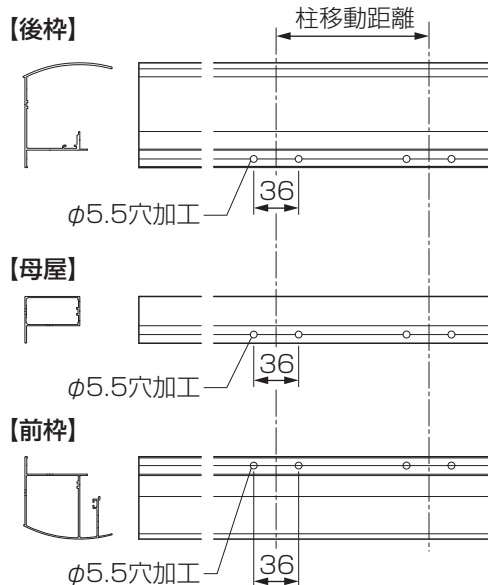
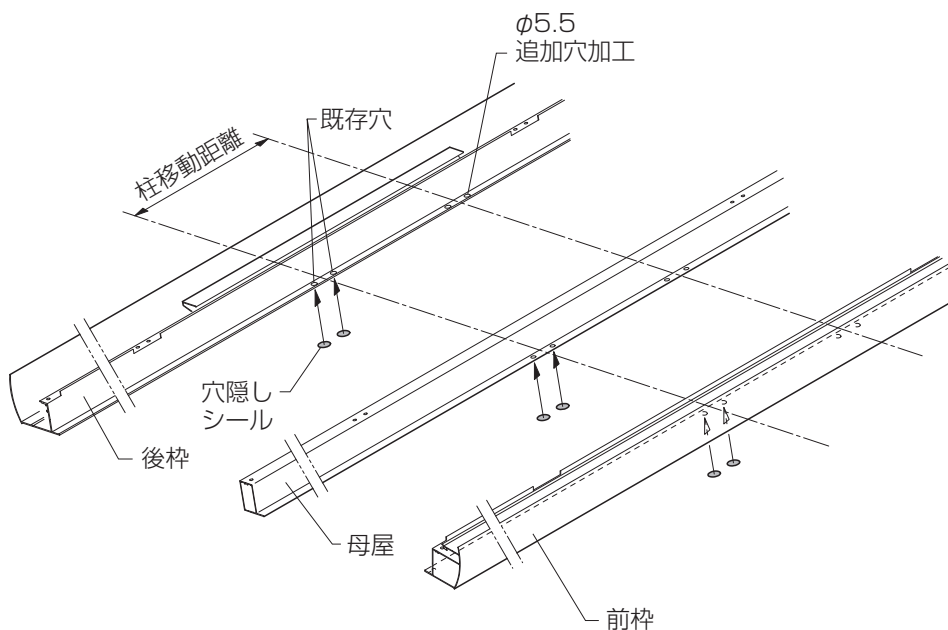
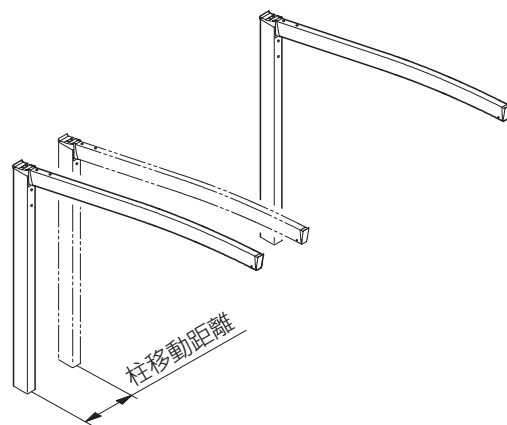
## 4 部材の加工

### □ 柱移動の場合（移動した柱、梁へ取付ける部材の加工）

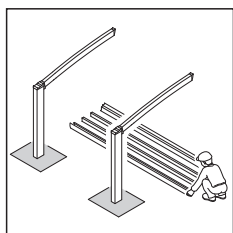


【柱移動】の場合の作業です。

- ①部材に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴隠しシーンを貼り付けてください。

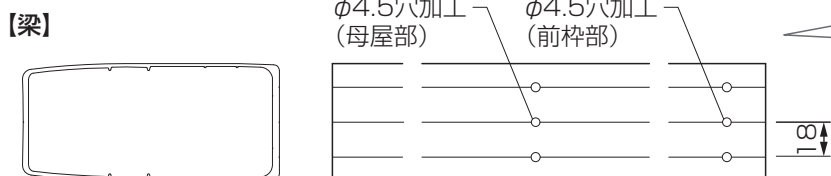
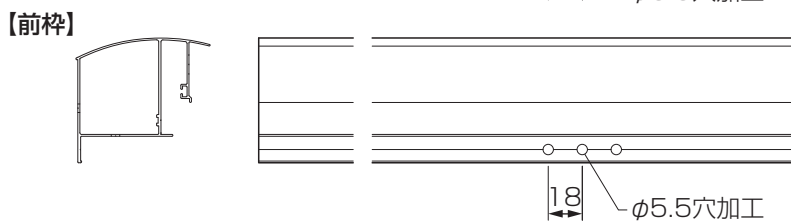
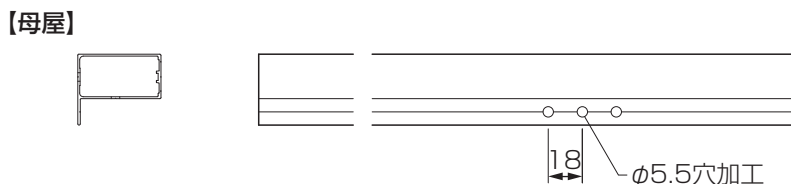


### □ 耐風圧の場合（追加補強ネジ用の穴加工）



【耐風圧】の場合の作業です。

- ①部材に穴加工を行なってください。

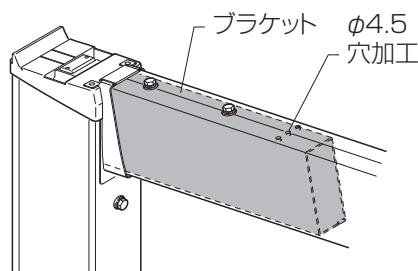


お願い

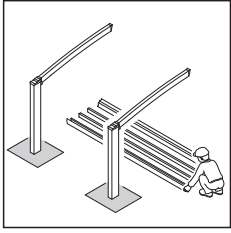
すべての母屋に穴加工してください。

お願い

ブラケットにもφ4.5の下穴をあけてください。



## □ 耐風圧、耐積雪の場合（母屋補強材の取付け）

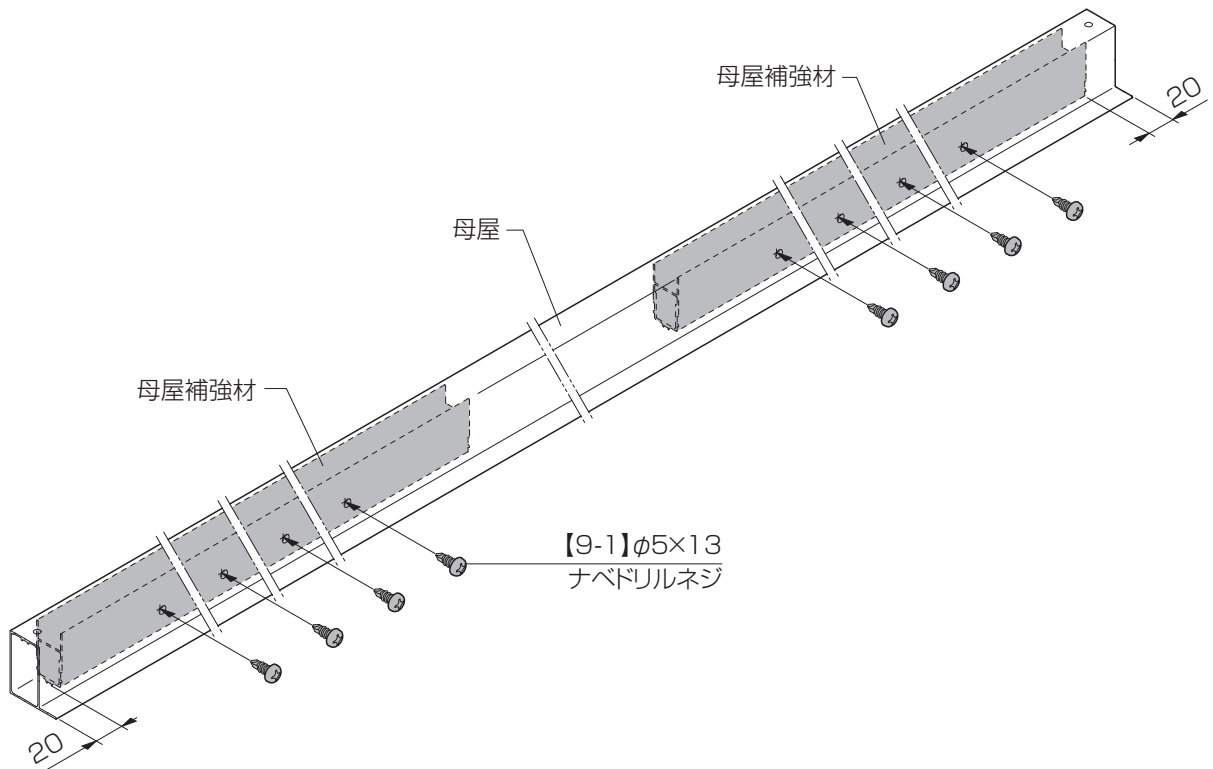
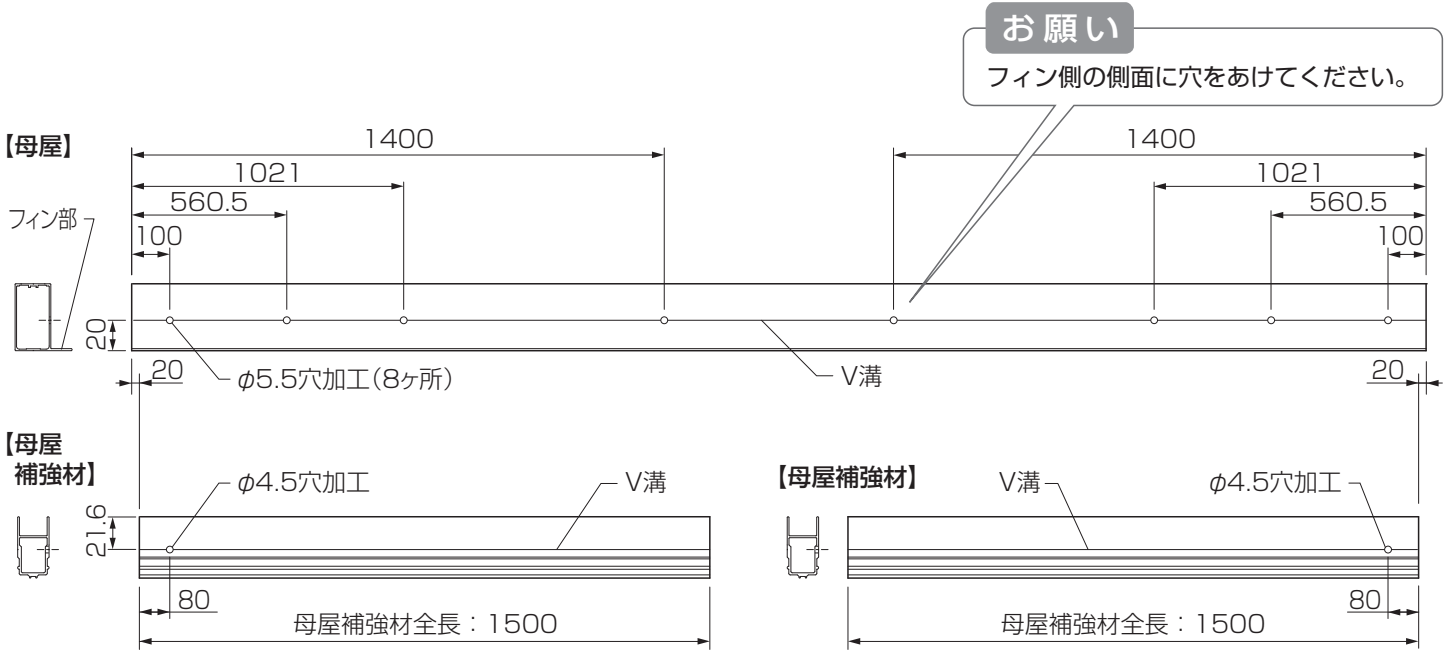


【耐風圧】・【耐積雪】の場合の作業です。

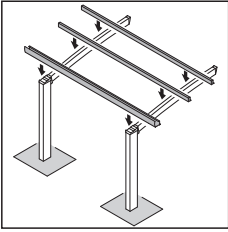


【縦連棟】の場合の母屋補強材の加工・取付は、P.19~21を参照してください。

- ① 母屋の側面にφ5.5の追加穴をあけてください。（8ヶ所）
- ② 母屋補強材の側面にφ4.5の追加穴をあけてください。（各1ヶ所）
- ③ 母屋補強材を母屋へ差し込み、【9-1】で取付けてください。



## 5 母屋・後枠の取付け



【縦連棟】の場合は、  
P.21も事前に確認してください。

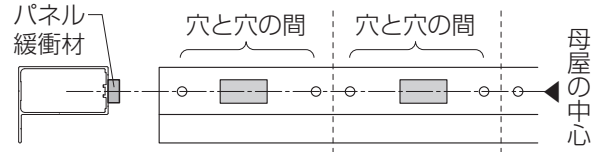
- ①後枠をブラケットに【7-2】で取付けてください。
- ②パネル緩衝材を母屋に貼り付けてください。
- ③母屋を梁に【7-2】で取付けてください。



【スマート雨樋仕様】の場合は、後枠内側に部品を取付けます。  
【スマート雨樋 取付説明書 (D608)】を参照してください。

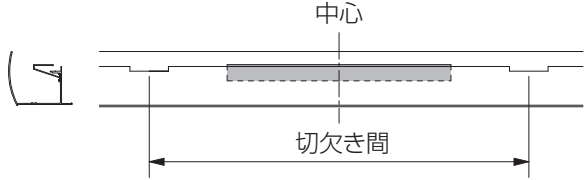
### お願い

パネル緩衝材は下図の位置に貼り付けてください。



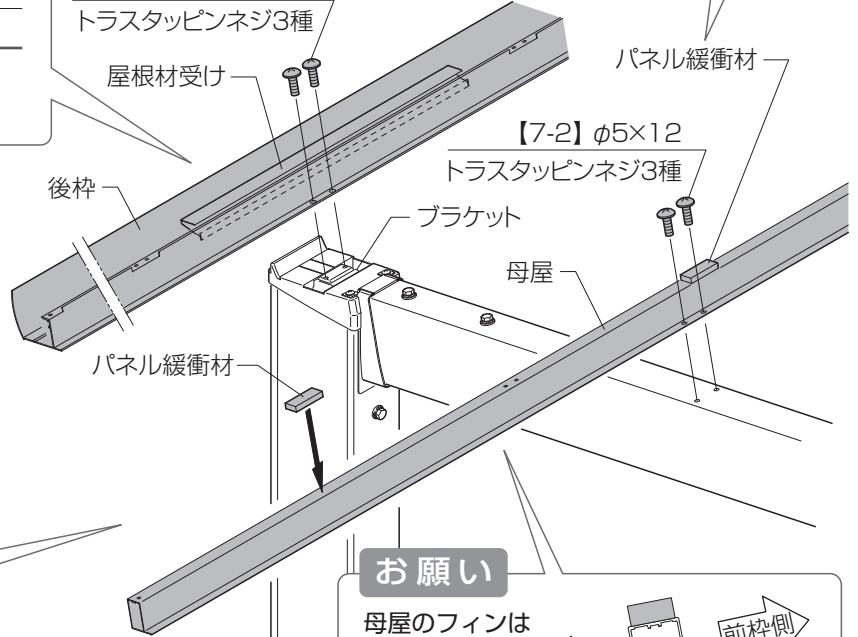
### お願い

屋根材受けを下図の位置に移動させてください。



【7-2】φ5×12

トラスタッピンネジ3種

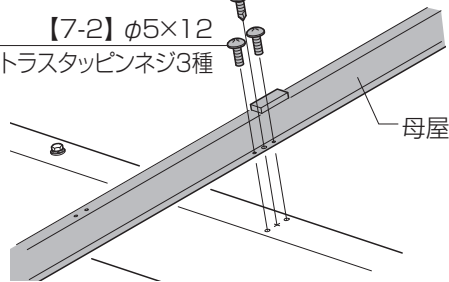


【耐風圧】の場合の作業です。

母屋と梁に【16-1】で追加固定をしてください。

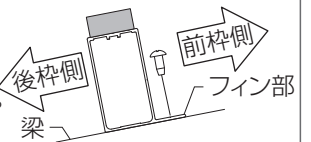
【16-1】φ5×13  
ナベドリルネジ

【7-2】φ5×12  
トラスタッピンネジ3種

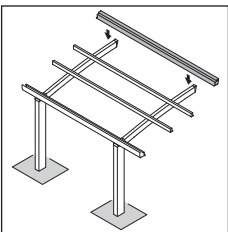


### お願い

母屋のフィン  
は前枠側に  
向けてください。



## 6 前枠の取付け



【縦連棟】の場合は、  
P.21も事前に確認してください。

- ①前枠を梁に【7-2】で取付けてください。

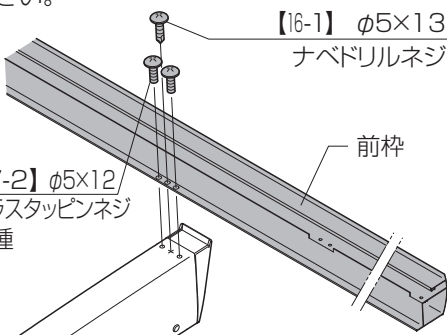


【耐風圧】の場合の作業です。

前枠と梁に【16-1】で追加固定をしてください。

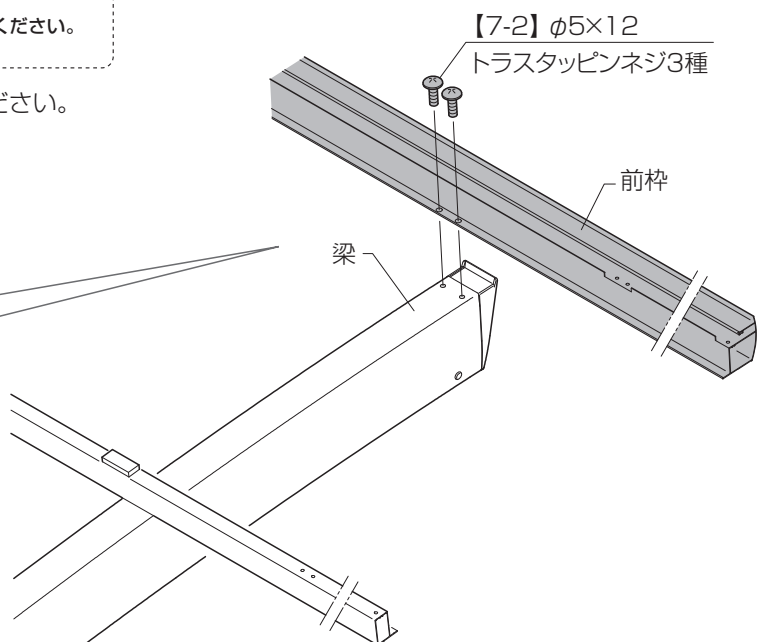
【16-1】φ5×13  
ナベドリルネジ

【7-2】φ5×12  
トラスタッピンネジ  
3種



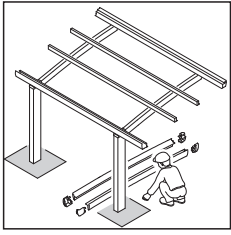
【7-2】φ5×12

トラスタッピンネジ3種

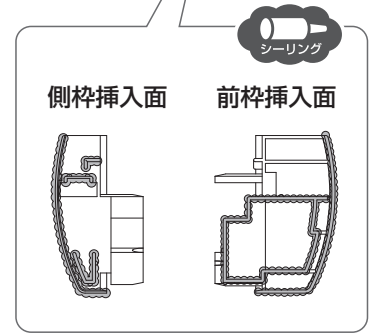
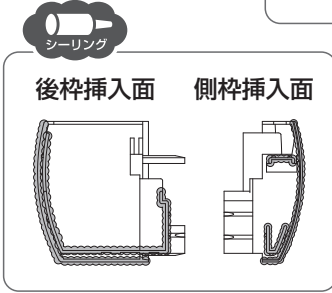
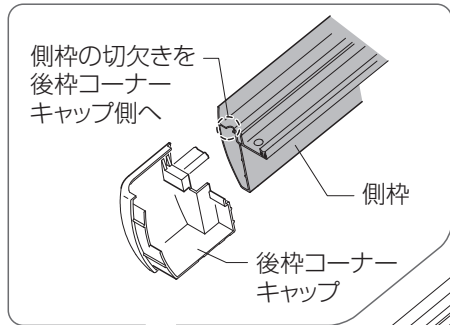


## 7 側枠の取付け

### 1 コーナーキャップの取付け



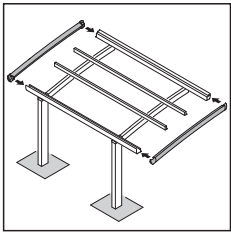
- ① コーナーキャップにシーリング材を充てんしてください。
- ② コーナーキャップを側枠にはめ込んでください。



前枠コーナーキャップR  
[部品番号] YBA-460R

後枠コーナーキャップR  
[部品番号] YBA-464R

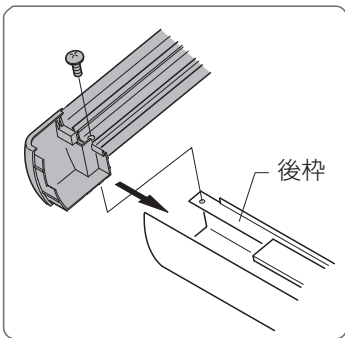
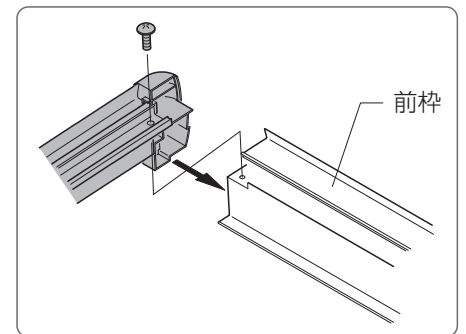
### 2 側枠の取付け



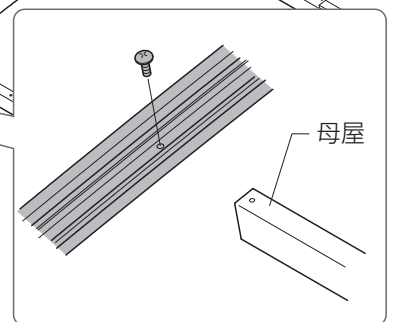
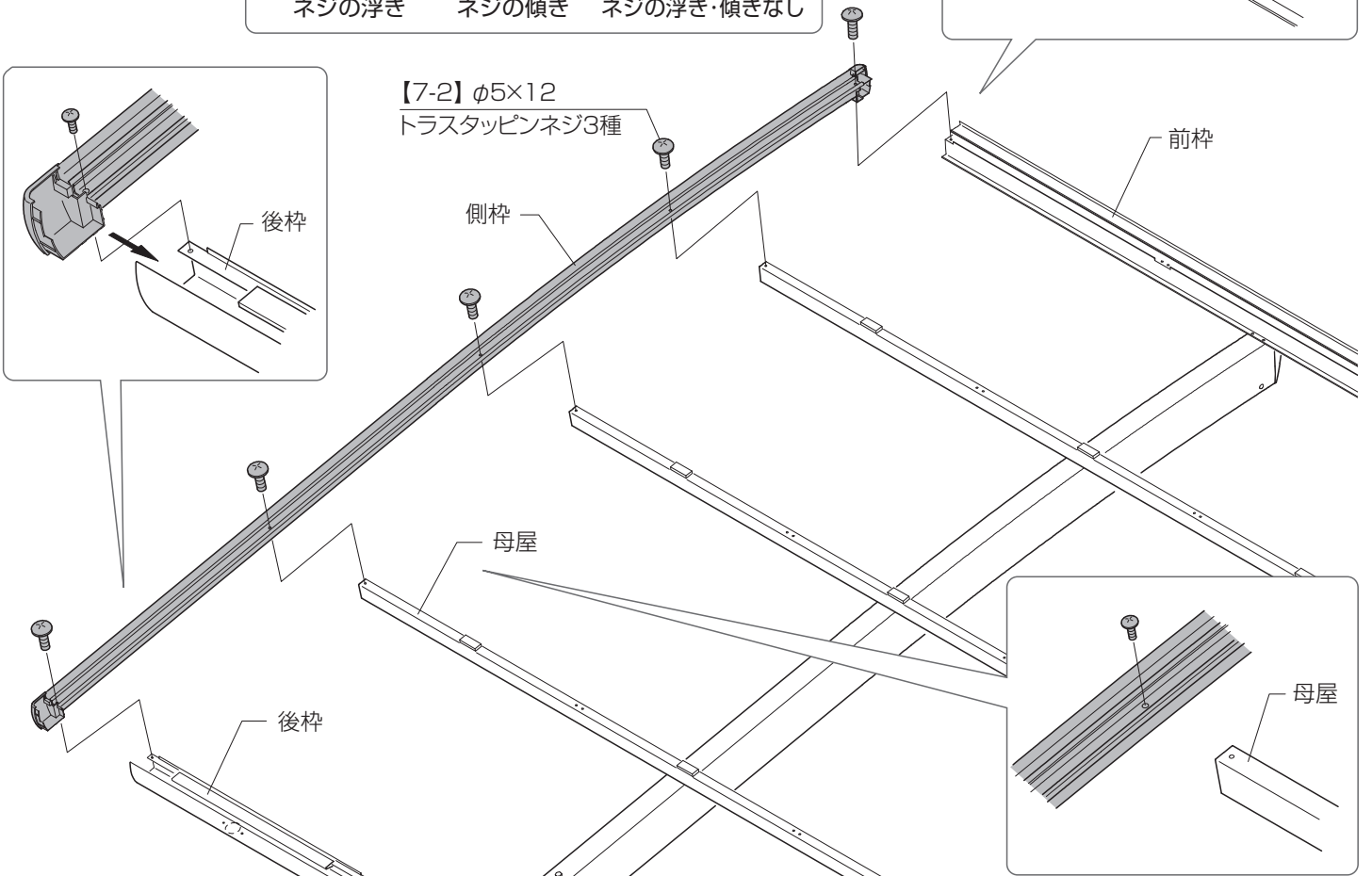
- ① 側枠を後枠・母屋・前枠に【7-2】で取付けてください。

#### お願い

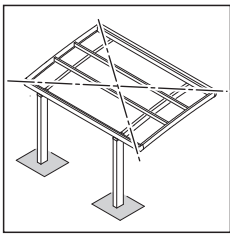
ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



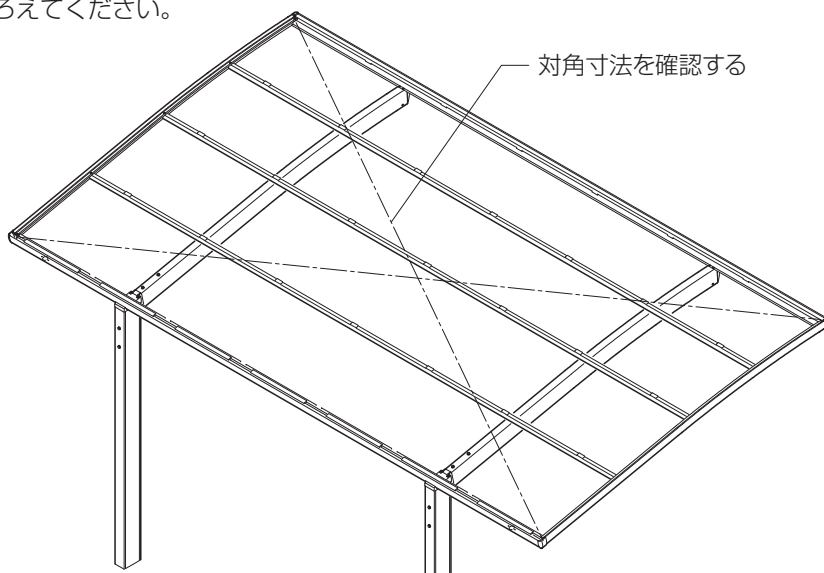
【7-2】φ5×12  
トラスタッピンネジ3種



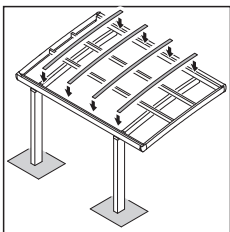
## 8 対角寸法の確認



①屋根枠まわりの対角寸法をそろえてください。



## 9 垂木の取付け



①垂木を後枠・母屋・前枠に【7-2】で取付けてください。

お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



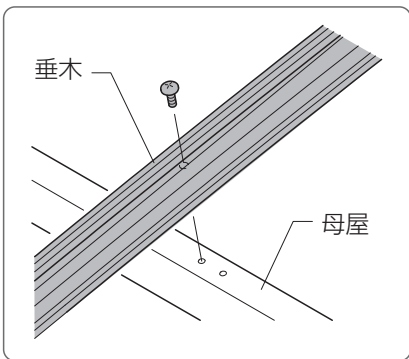
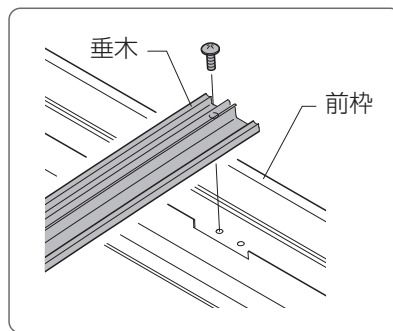
ネジの浮き



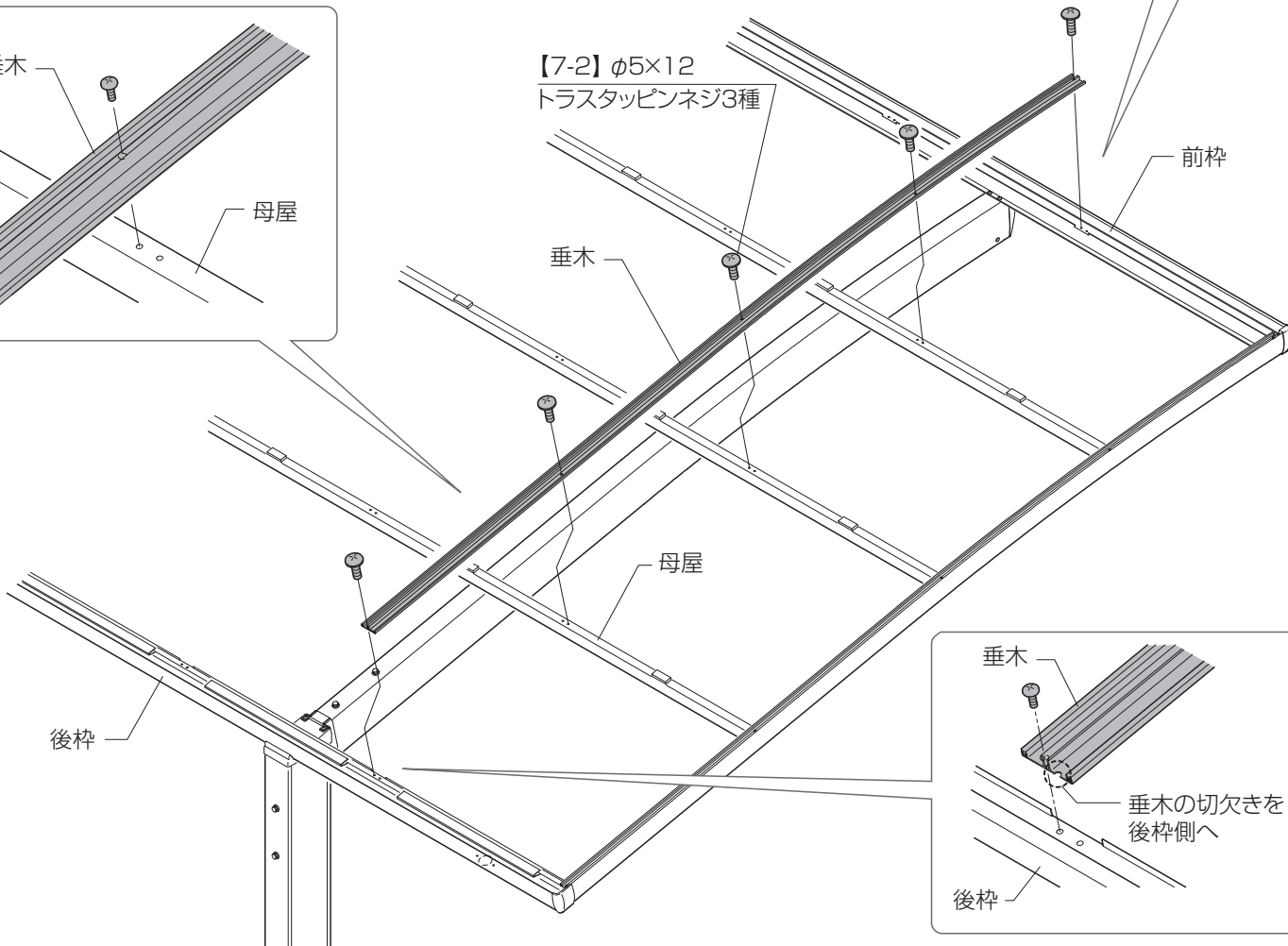
ネジの傾き



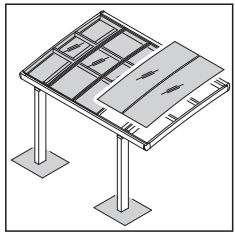
ネジの浮き・傾きなし



【7-2】φ5×12  
トラスタッピンネジ3種



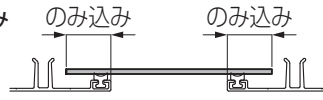
## 10 屋根材の取付け



①屋根材を前枠のカバー部に差し込み、後枠の屋根材受けに差込んでください。

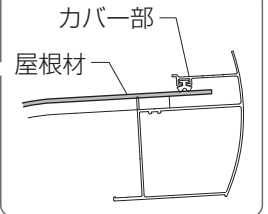
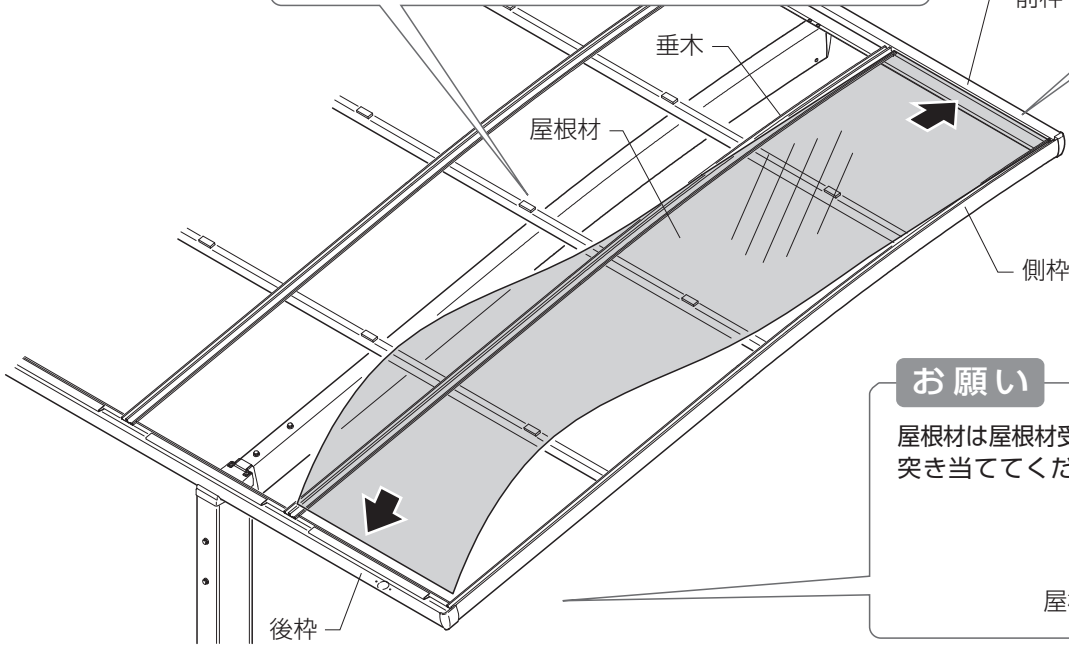
### お願い

垂木部の屋根材のみ込み寸法は左右均等にしてください。



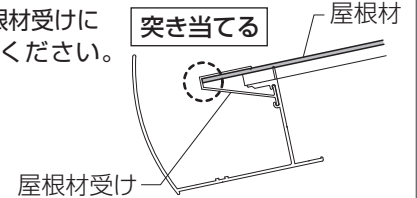
### お願い

屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

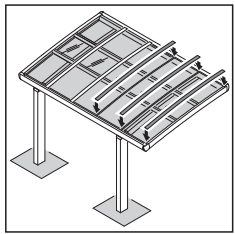


### お願い

屋根材は屋根材受けに突き当ててください。



## 11 側枠カバー・垂木カバーの取付け



①垂木カバー・側枠カバーを、垂木・側枠に【7-2】で取付けてください。  
②垂木カバー・側枠カバーにシーリング材を充てんしてください。



【耐風圧仕様】の場合は、【屋根材ホルダー 取付説明書 (D614)】も参照してください。

### お願い

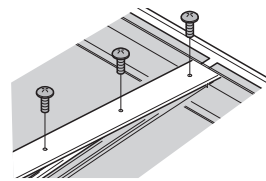
【取付けた後は】  
垂木と垂木カバーが  
かみ合っていることを  
確認してください。

### かみ合わせる

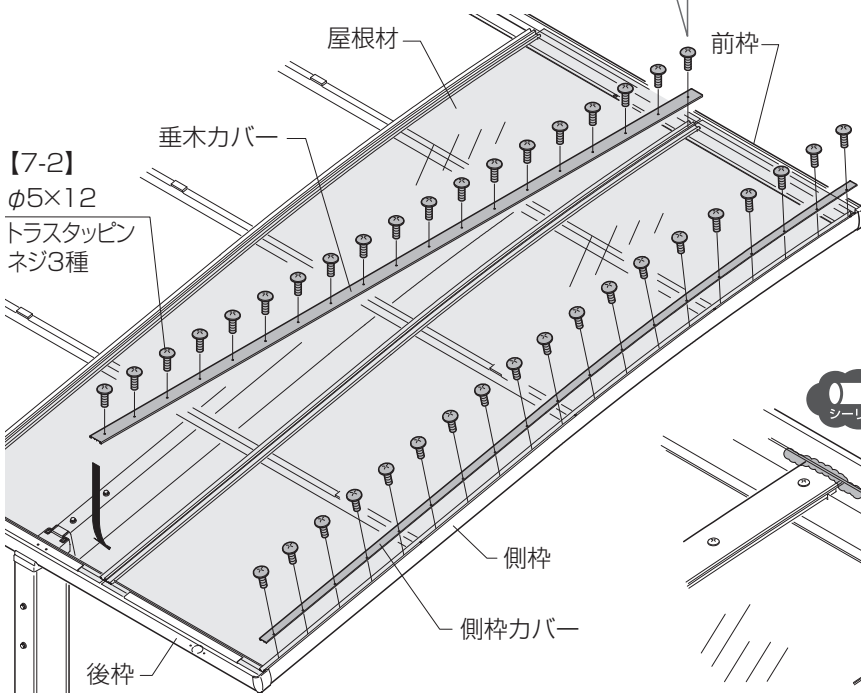
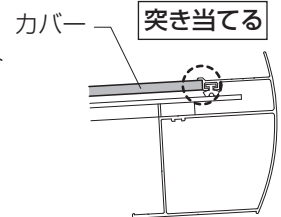


### お願い

【取付ける際は】  
・前枠側から取付け  
てください。



・前枠に突き当てて  
取り付けてください。



【7-2】  
φ5×12  
トラスタッピン  
ネジ3種

### お願い

ネジの浮き・傾きがない  
ように取付けてください。



ネジの浮き

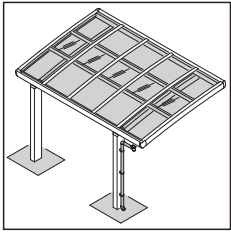


ネジの傾き



ネジの浮き・傾きなし

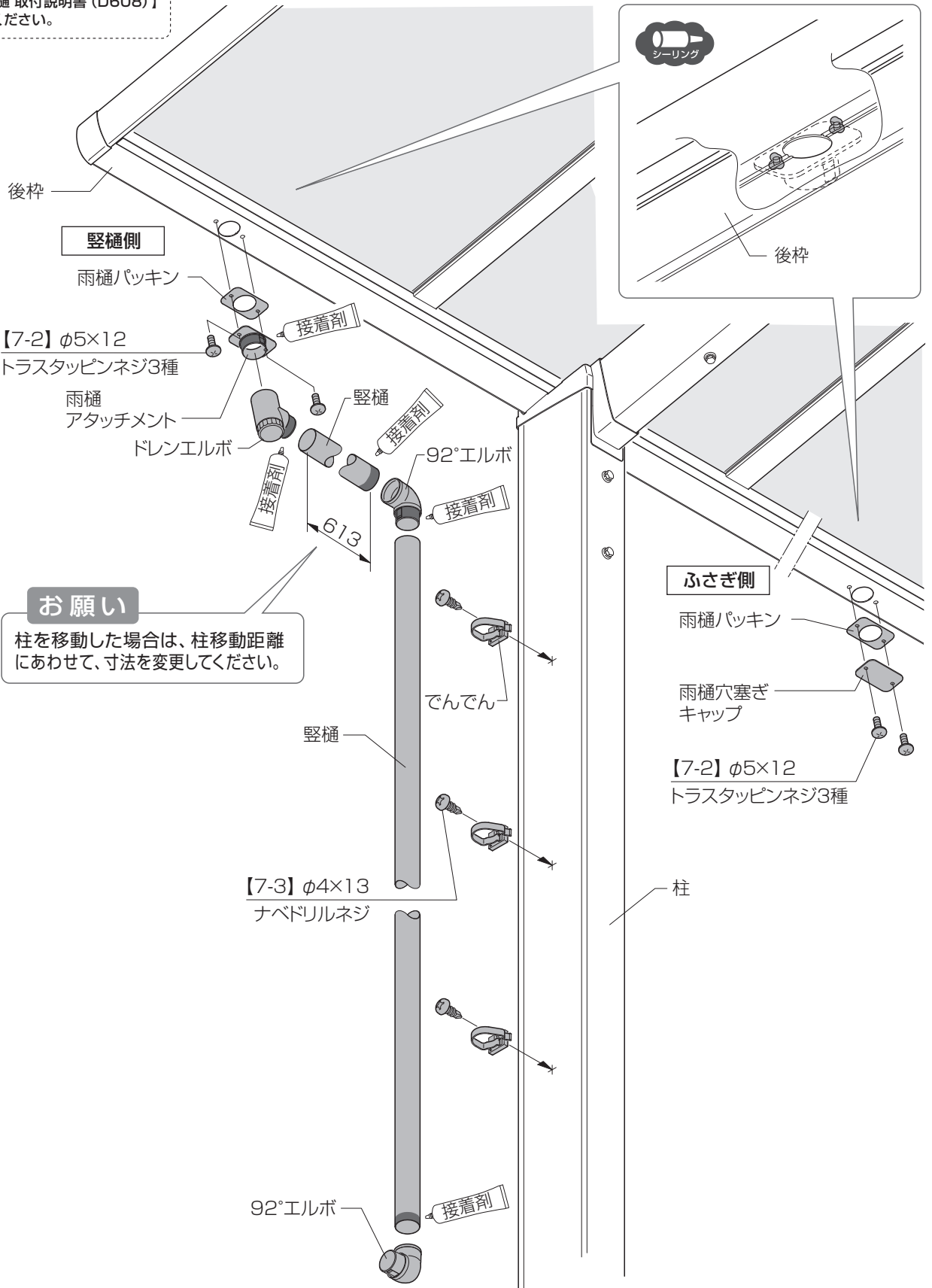
## 12 縦樋の取付け



- ① 縦樋を切断してください。
- ② 後枠片方の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋アタッチメント」を【7-2】で取付けてください。
- ③ 柱に「でんでん」を【7-3】で取付けてください。
- ④ 「ドレンエルボ」、「縦樋」、「92°エルボ」を接着剤で取付けてください。
- ⑤ 逆側の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋穴塞ぎキャップ」を【7-2】で取付けてください。
- ⑥ 後枠内のネジ部にシーリング材を充てんしてください。



【スマート雨樋仕様】の場合は、  
【スマート雨樋 取付説明書 (D608)】  
も参照してください。



# 縦連棟タイプの施工



【縦連棟】の場合の作業です。

## 縦連棟の確認事項

### 姿図

#### 注意



【柱移動】をした場合は  
柱芯々寸法±100mm以内で  
柱移動をしてください。

#### お願い

柱内の水が抜けるように必ず砕石を  
敷いてください。

#### 補足

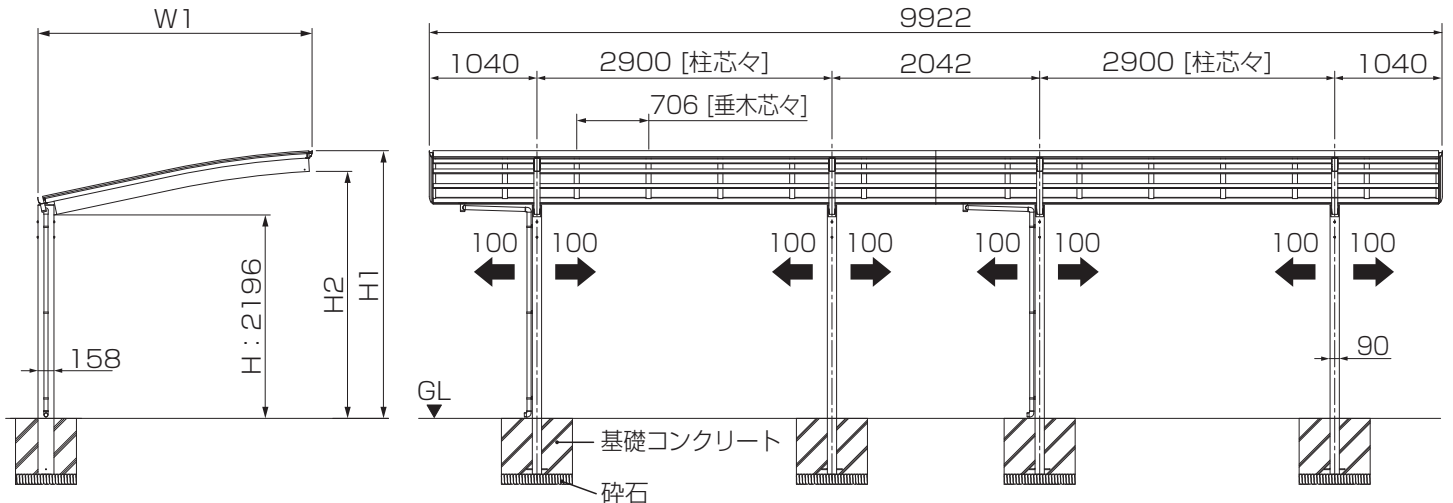
印は【柱移動】範囲を示します。

【ロング柱の場合】

H寸法に+300してください。

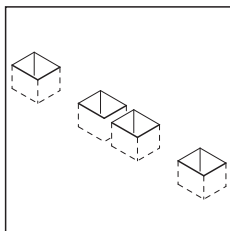
【H28柱の場合】

H寸法に+600してください。



サイズ(間口)		W1	H1	H2
1 台用	W24	2400	2768	2563
	W25	2551	2800	2595
	W27	2701	2832	2627

### 基礎の墨出し

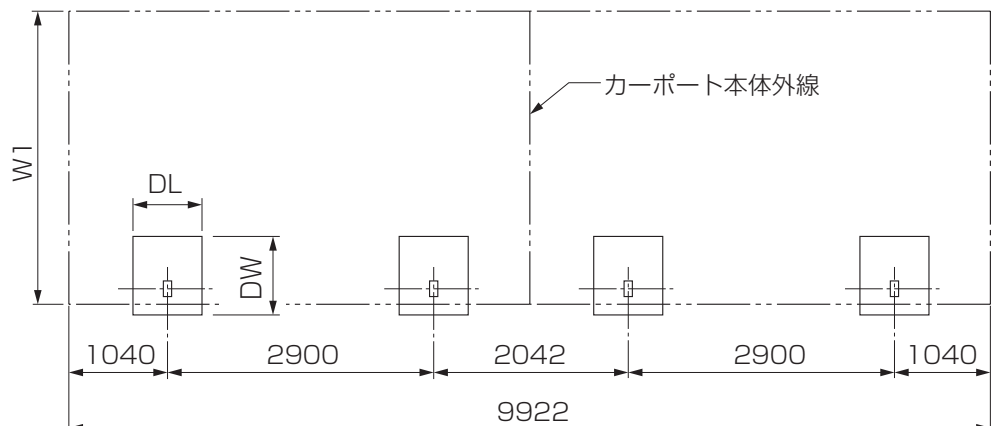


① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



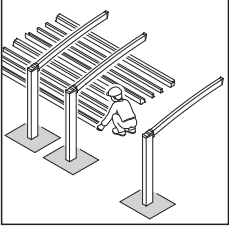
【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。



# 1 連結部の加工

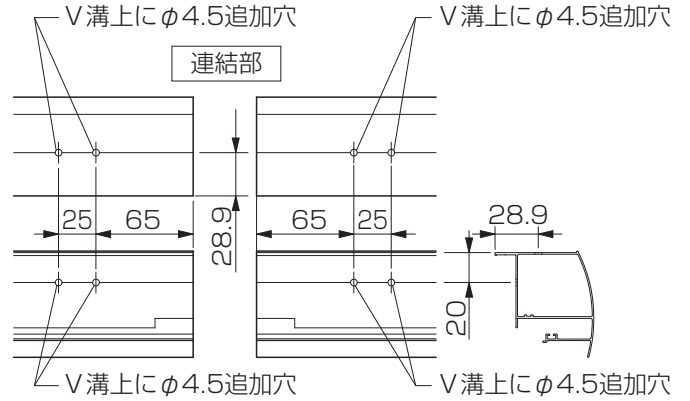
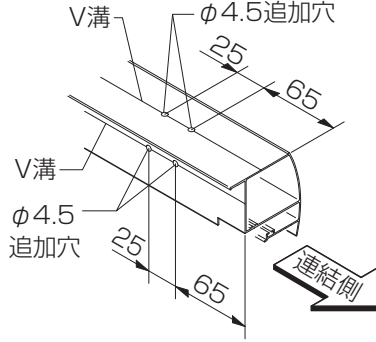
## □ 連結スリーブ取付用の穴加工



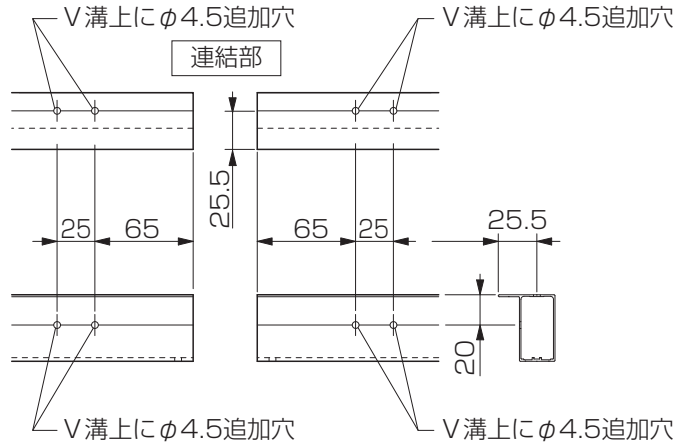
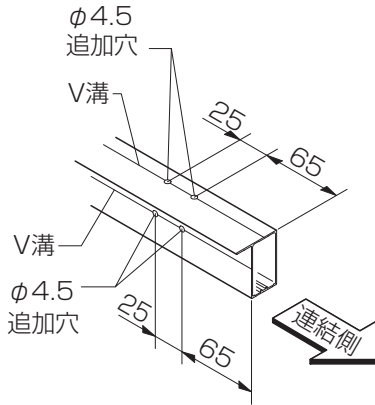
【耐風圧】【耐積雪】の場合は、P.20も併せて参照して母屋への加工を行ってください。

①前枠・母屋・後枠・母屋スリーブの連結側を穴加工してください。

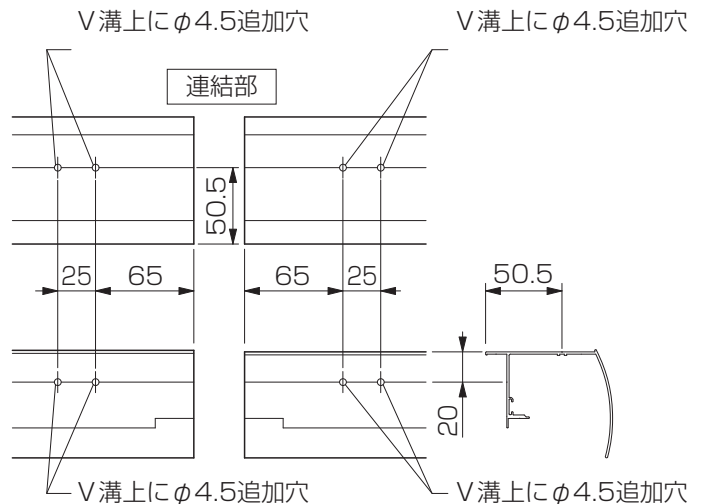
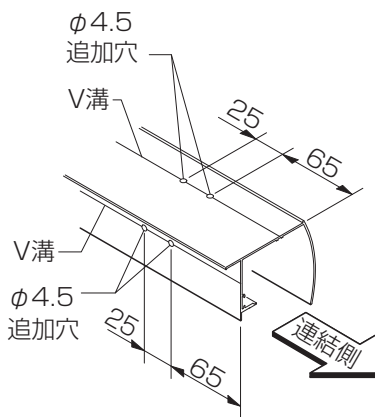
### ●前枠【下面から見る】



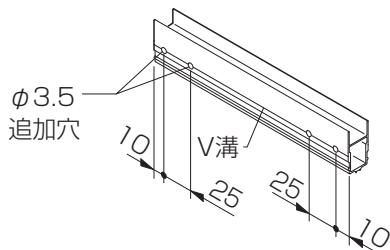
### ●母屋【下面から見る】



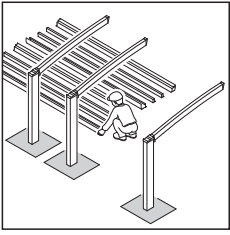
### ●後枠【下面から見る】



### ●母屋スリーブ

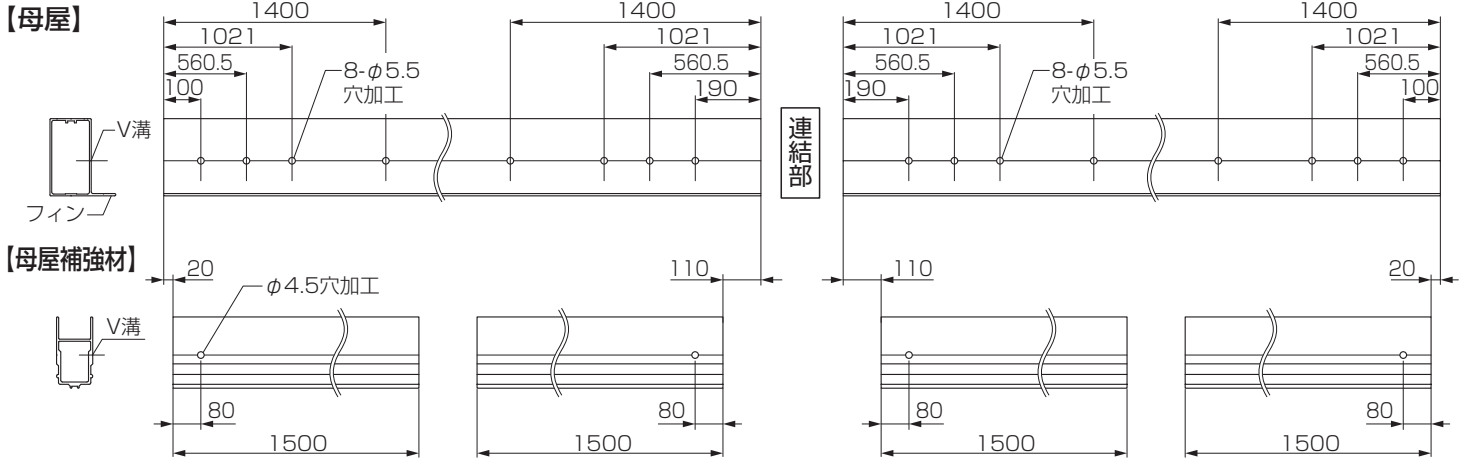


□ 耐積雪・耐風圧の場合：縦連棟（母屋補強材取付用の穴加工）



 で  耐積雪  耐風圧 **【耐積雪】** **【耐風圧】** の場合の作業です。

①母屋・母屋補強材を加工してください。

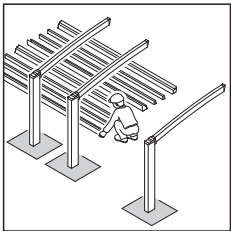


**補 足**

母屋への穴加工はフィン側に行なってください。

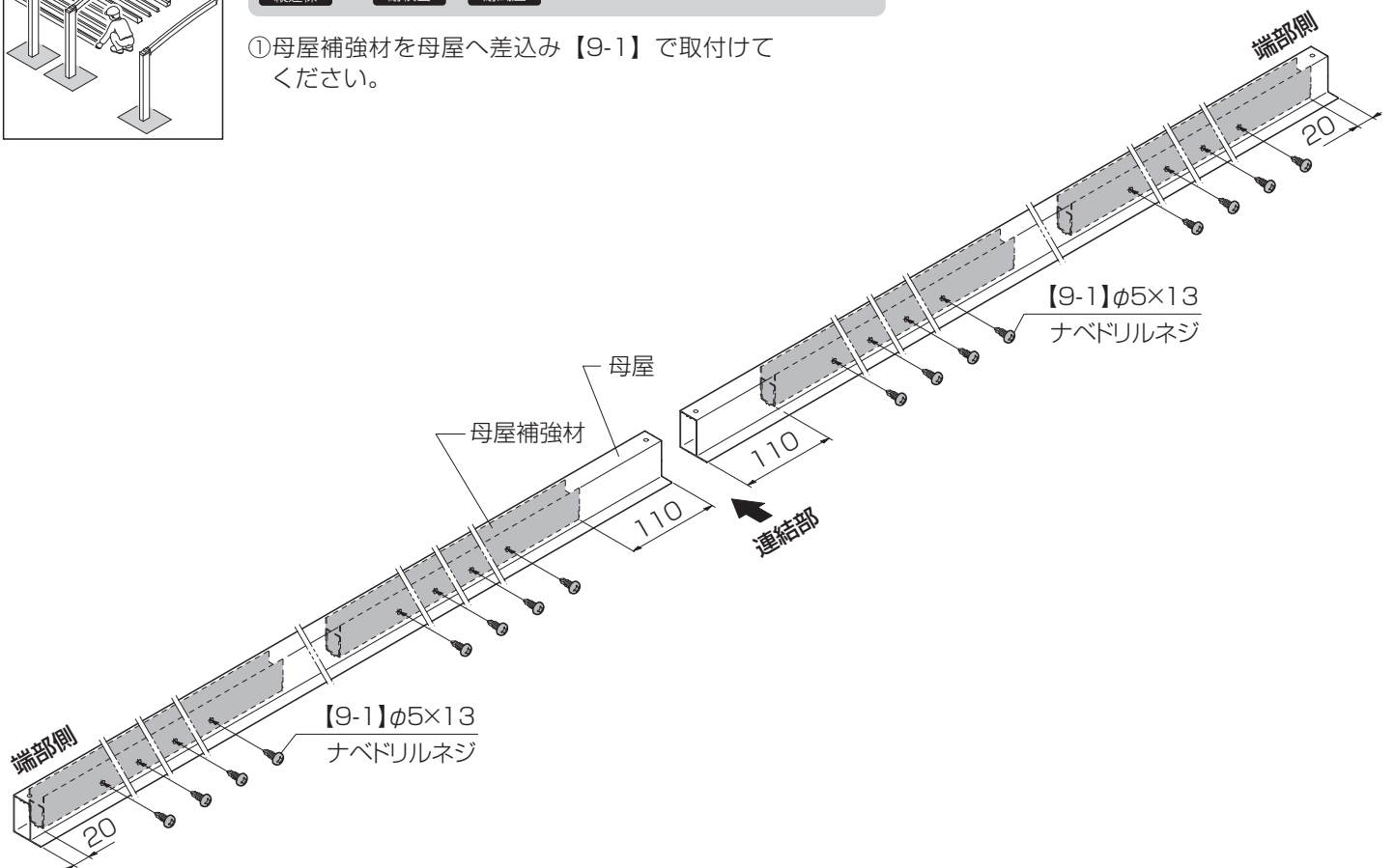
**2 部材の取付け**

**1 母屋補強材の取付け**

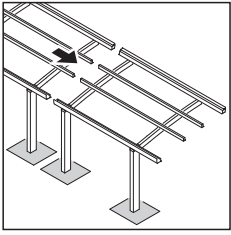


 で  耐積雪  耐風圧 **【耐積雪】** **【耐風圧】** の場合の作業です。

①母屋補強材を母屋へ差込み【9-1】で取付けてください。



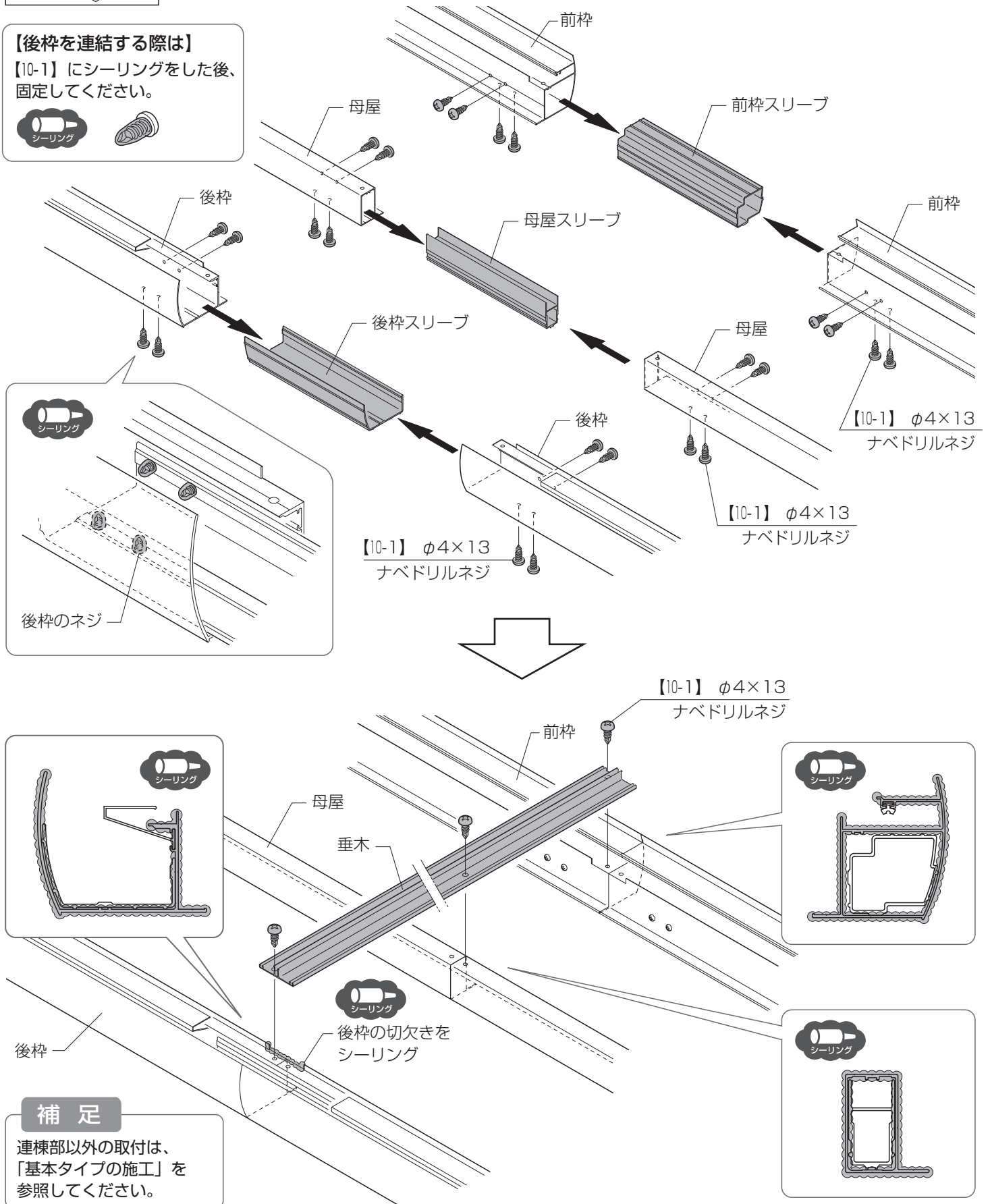
## 2 連棟部の連結



- ①後枠スリーブを取付けるネジ【10-1】にシーリング材を充てんしてください。
- ②前枠、母屋、後枠に、それぞれのスリーブを【10-1】で取付けて連結してください。
- ③後枠の切欠き部と各部材の連結部分にシーリング材を充てんしてください。
- ④連結部分に垂木を【10-1】で取付けてください。

### 【後枠を連結する際は】

【10-1】にシーリングをした後、固定してください。



### 補足

連棟部以外の取付は、「基本タイプの施工」を参照してください。

# M合掌タイプの施工



【M合掌】の場合の作業です。

## M合掌の確認事項

### 姿図

#### 注意

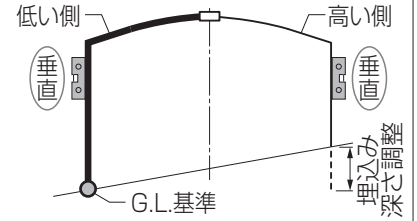


【柱移動】をした場合は柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

### お願い

#### 【傾斜地で施工する場合】

低い側の本体高さを基準とし、高い側の本体の埋め込み深さを調整して、本体高さを合わせ、柱が垂直になるよう施工してください。  
合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。



### お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

### 補足

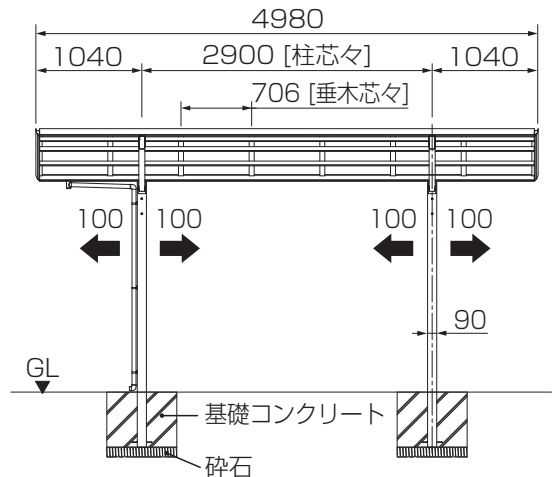
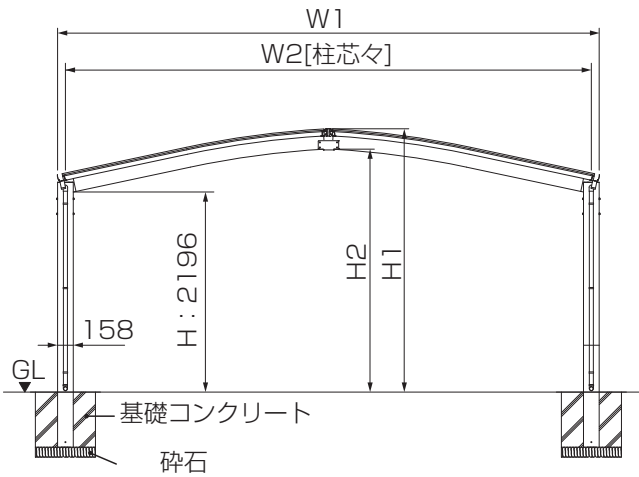
←印は【柱移動】範囲を示します。

#### 【ロング柱の場合】

H寸法に+300してください。

#### 【H28柱の場合】

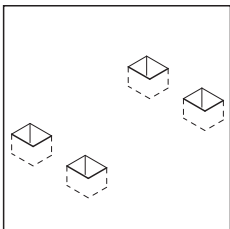
H寸法に+600してください。



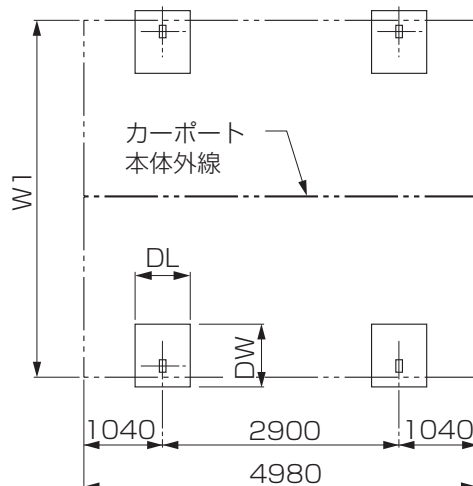
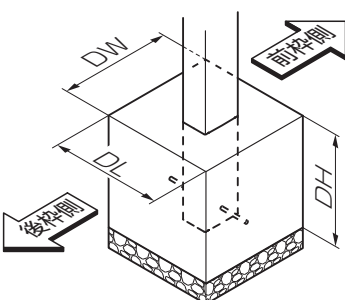
サイズ (間口)	W1	W2	H1	H2	
1 台用	W24-24	4816	4653	2770	2563
	W25-25	5116	4953	2802	2595
	W27-27	5416	5253	2834	2627

サイズ (間口)	W1	W2	H1	H2	
1 台用	W24-25	4966	4804	2770	2563
	W25-27	5266	5104	2802	2595

### 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



P.8

【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。

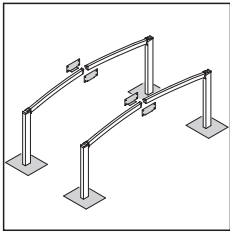
### お願い

サイズ (間口) 違いの場合に基礎深さ (DH) は下表の寸法になります。

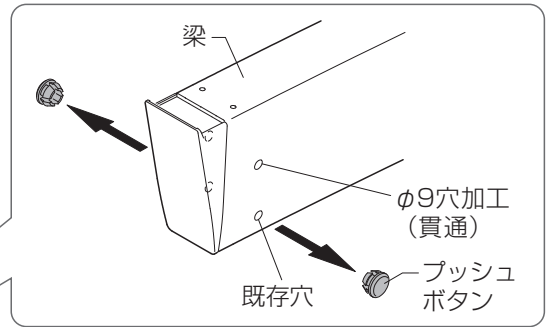
サイズ (間口)	W24 側	W25 側	W27 側
W24-25	550	582	-
W25-27	-	550	582

# 1 合掌部の取付け

## 1 合掌金具の取付け



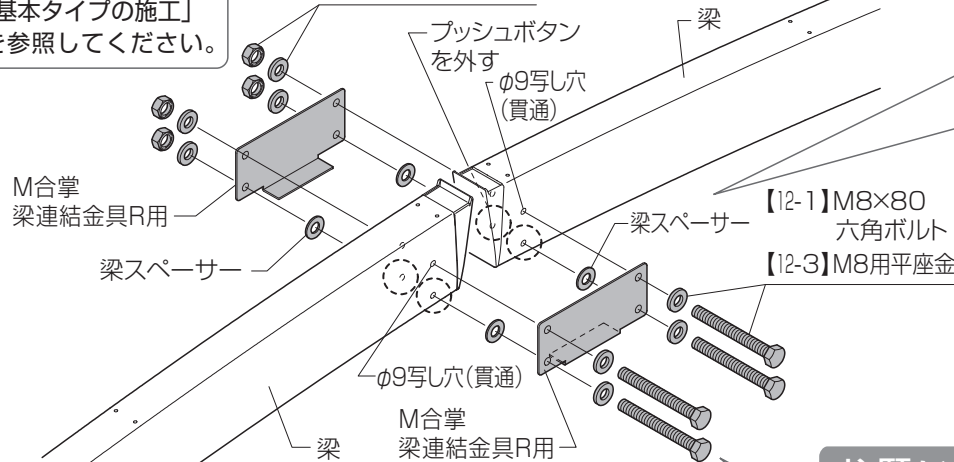
- ① 梁のプッシュボタンを外してください。
- ② 梁にM合掌梁連結金具を当てがい穴位置をケガキ、 $\phi 9$ の貫通穴をあけてください。
- ③ 梁と梁をM合掌梁連結金具R用と梁スペーサー、【12-1】～【12-3】で固定してください。



### 補足

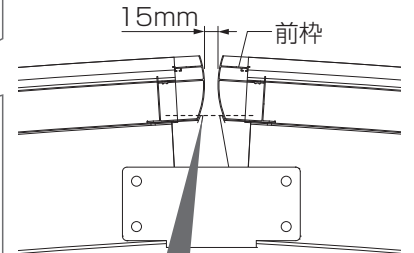
合掌部以外の取付けは、「基本タイプの施工」を参照してください。

- 【12-2】M8六角セルフロックナット
- 【12-3】M8用平座金



### お願い

前枠と前枠の間隔が15mmであることを確認してください。



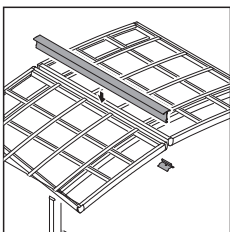
左右の梁の高さを合わせてください。高さに差がでますと合掌棟木が傾いて取り付けられ、漏水するおそれがあります。

### お願い

ボルトを締付ける際は 梁が変形しないように締め込みすぎないようにしてください。

# 2 合掌棟木の取付け

## □ 単独施工の場合



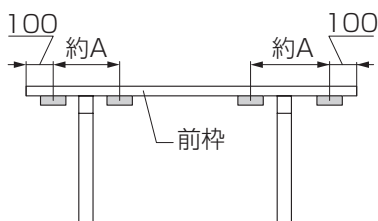
### 補足

「基本タイプの施工：9 垂木の取付け」の後に本手順を行なってください。

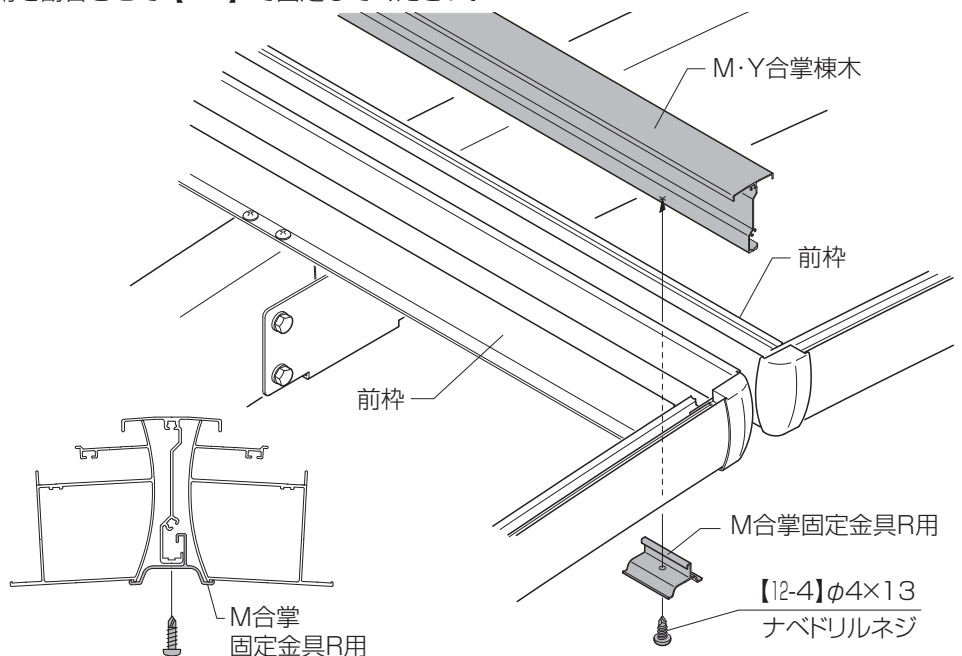
- ① M・Y合掌棟木を前枠と前枠の間に差し込んでください。
- ② M合掌固定金具R用を勘合させて【12-4】で固定してください。

### お願い

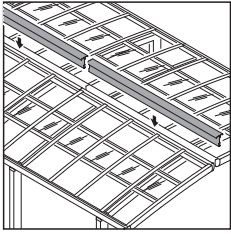
M合掌固定金具R用は図の位置に取付けてください。固定金具取付位置に梁がある場合は、ずらして取付けてください。



サイズ(奥行)	A	取付個数
L50	1625	4



## □ 連結する場合



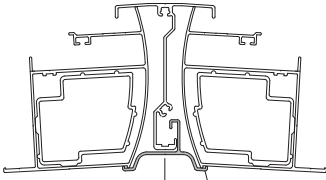
【縦連棟】の場合の作業です。



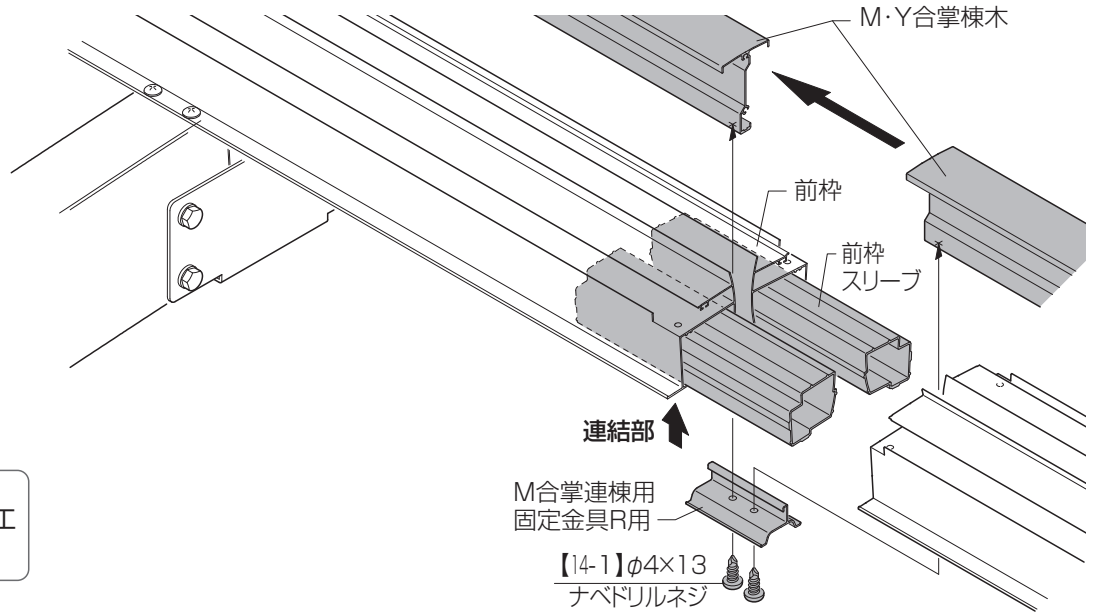
P.21

P.21も事前に確認してください。

- ①前枠スリーブで前枠同士を連結してください。
- ②M・Y合掌棟木を前枠と前枠の間に乗せて、M合掌連棟用固定金具R用と【I4-1】で固定してください。



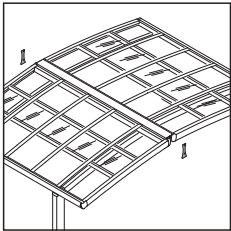
M合掌連棟用  
固定金具R用



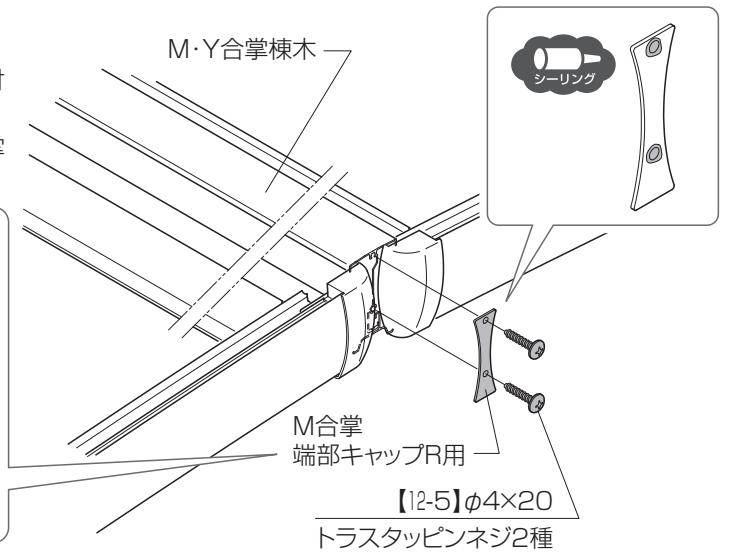
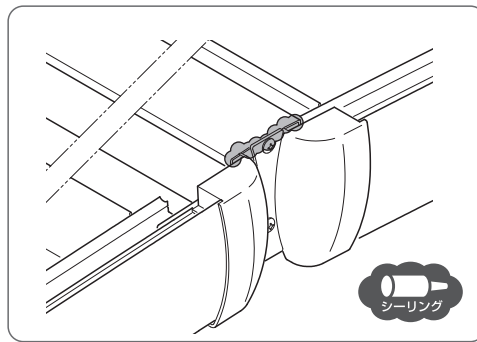
### 補 足

連棟部以外の取付は、「単独施工の場合」と同様です。

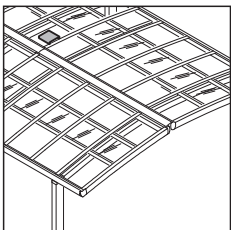
## 3 M合掌端部キャップの取付け



- ①M合掌端部キャップR用を【I2-5】で取付けてください。
- ②M合掌端部キャップR用およびM・Y合掌棟木にシーリングしてください。

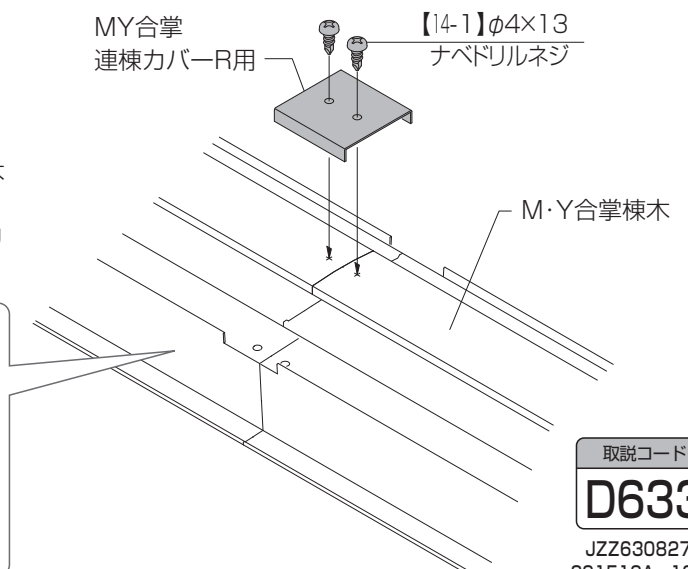
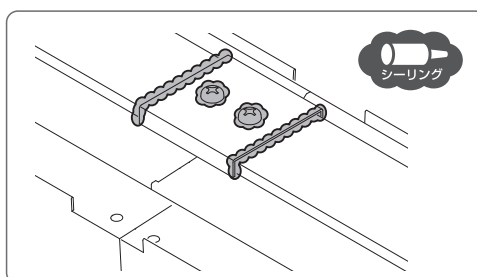


## 4 MY合掌連棟カバーの取付け



【縦連棟】の場合の作業です。

- ①MY合掌連棟カバーR用をM・Y合掌棟木に【I4-1】で取付けてください。
- ②MY合掌連棟カバーR用とネジ頭にシーリングしてください。



取説コード

**D633**

JZZ630827B  
201510A\_1048  
202601C\_1100